

## ベッドサイド水洗トイレ EWRS320型

### 工事店様へ

#### 取り付け前の確認

【作業者の人数】 1名 (アームレストをロックして移動可能)

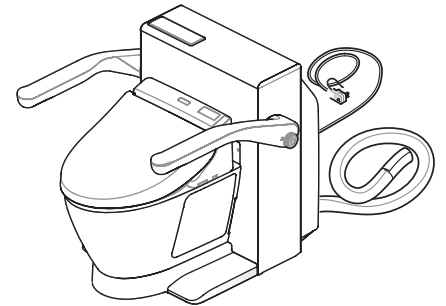
#### 【事前に実施していただくこと】

- ・ 事前配管工事
- ・ ふかし壁取り付け工事



COM-ETの「給排水設備設計施工ガイド」をみる

スマートフォン、タブレット端末でQRコードを読み取ってURLへアクセスしてください。  
パソコンからは下記URLへアクセスしてください。  
<http://search.toto.jp/contents/navi/construction/wl/pdf/bedsidetoile.pdf>  
※通送料はお客様のご負担となります。  
※機種によっては閲覧できない場合があります。  
あらかじめご了承ください。



#### 【事前にご準備いただくもの】

- ・ コーキング材(防カビ剤入り)及びコーキングガン
- ・ タッピンねじ 3本(φ4×16)
- ・ スパナ、モーターレンチ
- ・ ドライバー (プラス、マイナス)

- ・ 紙コップ
- ・ 柔らかい布

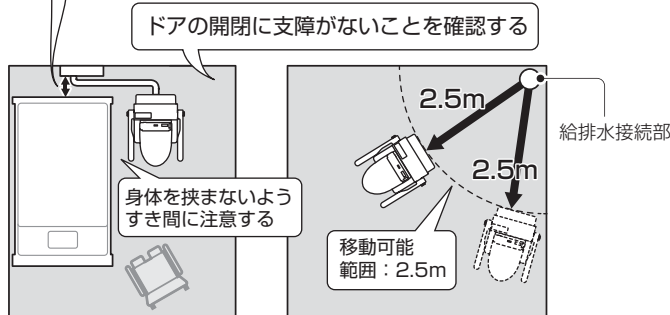
試運転時に使用します

- ・ 歯ブラシ、綿棒

フィルター清掃時に使用します

#### 【設置ポイント】

昇降式ベッドの昇降時に配管接続部が折れ曲がらないことを確認する



#### お願い

・ 表の電力に適した配線をしているか確認してください。

電源	定格消費電力
AC100V(50/60Hz)	576W

- ・ 給水温度は0~35℃です。この温度範囲でご使用ください。
- ・ 給水圧力範囲は0.07MPa (流動時) ~0.75MPa (静止時) です。この圧力範囲でご使用ください。  
給水圧が低いとウォシュレットの吐水が弱くなることがあります。
- ・ ドアの開閉に支障がないことを確認してください。
- ・ 電源コードの長さは約2.5mです。  
コンセントをこの長さに適した位置に設置しているか確認してください。  
アースは必ず接続ください。
- ・ 給水・排水ホースの先端接続部に傷をつけないようにしてください。

※出荷前に通水検査をしていますので、商品内に水が残っている場合がありますが、商品には問題ありません。

安全上のご注意	1
施工上のご注意	3
同梱部品	4
各部のなまえ	5
施工手順	6
1. 配管部品を取り付ける	6
2. 壁固定部品を取り付ける	8
3. 本体部に便器を取り付ける	9
4. ウォシュレット本体を取り付ける	13
5. ウォシュレット用電源プラグ・アース線を接続する	14
6. ウォシュレット用給水ホースを接続する	15
7. 便器洗浄コードを接続する	16
8. 給水ホース・排水ホースを接続する	17
9. 給水・排水部材仕上げ	20
10. ベッドサイド水洗トイレの電源プラグを接続する	20
11. 試運転	21
12. サイドカバーを取り付ける	23
13. コーキング処理をする	23
14. ペーパーホルダーを取り付ける	23
15. リモコンを取り付ける	24
試運転	21
給水フィルターの掃除	25

はじめに

取り付けかた

試運転他

- 取扱説明書の保証書に必要事項を記入のうえ必ずお客様にお渡しください。
- ウォシュレットの機能、使いかたについてお客様に説明してください。
- この施工説明書はベッドサイド水洗トイレの設置と給排水ホースの接続部分を対象としています。
- 連立対応についてウォシュレットSのアフターサービスマニュアルを参照ください。  
「連立対応について」をご覧ください。



# 安全上のご注意

## 必ずお守りください。



この「安全上のご注意」をよくお読みのうえ、正しくお使いください。






ここに示した注意事項は、安全に関する重要な内容ですので、必ずお守りください。

●表示と意味は次のようになっています。


 <b>警告</b>	この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負うことが想定される内容を示しています。
 <b>注意</b>	この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が傷害を負うことが想定される内容、および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。

●お守りいただく内容を表示で区分し説明しています。



絵表示の例	絵表示の意味	絵表示の例	絵表示の意味
	⊘ は、してはいけない「禁止」の内容です。		ⓘ は、必ず実行していただく「強制」の内容です。

 <b>警告</b>		
 禁止	屋外および傾斜のあるような壁面や床面、振動の激しい場所には取り付けない 取り付けが不安定になり、落下や転倒して、けがやときに死亡の原因になります。	
	車輛・船舶など、移動体への設置はしない 火災、感電、故障などの原因になります。 ウォシュレット本体、便座、便ふたなどがはずれて落下し、けがをする原因になります。	
	給排水ホースと電源コードをベッドの下など、 人が通る場所に配置しない 転倒してけがをする原因になります。	
	水道水および飲用可能な井戸水(地下水)以外は使用しない 皮膚の炎症を起こしたり、腐食や異物付着による機器故障の飲用可能な井戸水でも、 水質によりスケール・緑青発生で修理が必要な故障が起きやすくなります。	
	給水管と排水管接続部を接触させない 汚水が混入して健康に被害が及ぶ原因になります。	
	座位姿勢を保持できない方は使用しない 転倒してけがをする原因になります。	
 分解禁止	絶対に分解したり修理・改造は行わない 火災、感電、けがの原因になります。	
 必ず実行	浴室やパブリックトイレ、水を流して清掃するトイレ、屋外など水がかかったり 湿気の多い場所には設置しない 商品に水をかけない 火災、感電、けがの原因になります。	
	機器の設置、配管の取り付け、取り外し、電気工事は専門業者が壁内の所定方法で 給水管と排水管を敷設する。また建築壁の柱に所定の構造材を使用して固定する 商品の落下によりけがをする原因になります。	

## ⚠ 警告

 <b>必ず実行</b>	<p>消費電力に合った適切な配線を必ず行う(専用配線をおすすめします。) たこ足配線などで定格を超えると、発熱による火災の原因になります。</p>
	<p>電源はAC100Vのコンセントを使用し、アース工事(D種接地工事)を行う 火災、感電の原因になります。</p>
	<p>電源コンセントは水や小水がかからない位置に設置する 給水位置の真下や露出された排水管の真下にコンセントを設置したり、 給水ホース・排水ホースと電源プラグ・コンセントを接触させない 発火、感電の原因になります。</p>
	<p>電源プラグは根元まで確実に差し込む プラグを根元まで確実に押し込まないと、火災、感電の原因になります。</p>
	<p>移動するときは、足指を挟まないよう注意する 足が挟まるなどにより、けがをする原因になります。</p>
	<p>ウォシュレットの電源コンセントには、必ずコンセントカバーをする</p>
	<p>はね上げアームレストと他器具のすき間を50mm以上確保する 指を挟んでけがをする原因になります。</p>

## ⚠ 注意

 <b>禁止</b>	<p>専門業者以外の方は、施工を行わない 水漏れ、故障、けがの原因になります。</p>
	<p>給水ホース・排水ホースを踏みつけたり、無理に曲げたりしない 水漏れの原因になります。 排水ホースが詰まり、便器から汚水があふれて室内浸水の原因になります。</p>
 <b>必ず実行</b>	<p>施工は施工説明書に従って確実に 正しく取り付けないと水漏れ、感電、火災の原因になります。</p>
	<p>必ず同梱の部品を使用し、すべてを所定の位置に取り付ける すべての部品を取り付けないと、水漏れ、故障の原因になります。</p>
	<p>汚水系統は単独で汚水ます、または、排水立て管に接続する 汚水が逆流する原因になります。</p>
	<p>床下地には、厚さ12mm以上の耐水合板を使用し、耐荷重を確認する 床の材質によってはキズが付く原因になります。(畳、やわらかいフローリングなど)</p>
	<p>商品に強い力や衝撃を与えない、上に乗らない 重いものを載せない、物を置かない、手で押さえない 破損したり、部品がはずれて落下し、けがをする原因になります。</p>
	<p>ウォシュレットの漏電ブレーカ点検ボタンを押した後は、復帰させてから必ず コンセントカバーをする 万が一の場合の発火の原因になります。</p>
	<p>給水フィルター・給水フィルター付水抜栓を取り付けるときは確実に締める 確実に締めないと水漏れの原因になります。</p>
<p>工事完了後、2～3度便器洗浄して、給排水管およびウォシュレット本体底面から 水漏れなどの異常がないか確認する</p>	

## ⚠ 注意



必ず実行

施工後、必ず試運転し、各部に水漏れのないことを確認する  
確認せずに使用すると、浸水による財産損害の原因になります。

# 施工上のご注意

ベッドサイド水洗トイレは、寝室や施設内のベッドサイドで特定の方が使用するためのトイレです。

商品の設置検討に当たっては、給排水設備設計施工ガイドをご一読ください。  
ベッドサイド水洗トイレの給排水設備設計施工ガイドはTOTO HPよりダウンロードできます。

便器とウォシュレットはベッドサイド水洗トイレ専用品です。  
一般の大便器として使用できません。また、他の機種と組み合わせることはできません。

浄化槽を使用する場合、水量・水質の規定があります。建築用途や処理対象など個別に検討する必要がありますので、浄化槽メーカーまたは販売業者にご確認していただき、その指示に従ってください。

大便器の洗浄水量や汚水と雑排水の合流方法、排水管の設計方法は各自治体の指定に従ってください。

電源プラグをコンセントに差ししてから約1分間はセンサーが準備中となり動作しないため、各種機能が働きません。

インバーター方式の照明下でリモコンを使用しないでください。居室の環境条件によりウォシュレットが作動しないことがあります。

黒っぽい天井や壁ではリモコン信号の受信条件が悪くなり、リモコンを操作しても本体が反応しないことがあるので注意してください。

取り付けとメンテナンスに必要なトイレスペースを確保し、ドアの開閉に支障がないことを確認してください。  
メンテナンス作業空間としては前後左右に60cmが必要ですが、ベッドなどの移動によりこのスペースを確保できる場合は不要です。

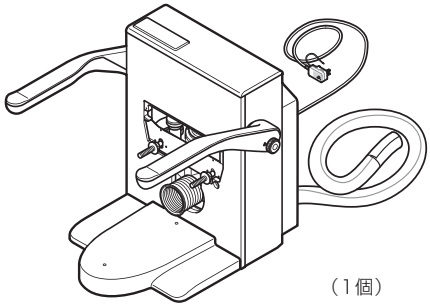















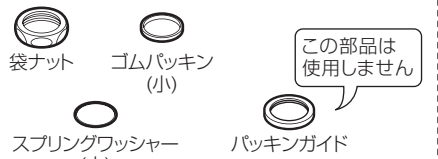
電源コードの長さは、2.5mです。コンセントは本体コード取出口から2.5m以内の壁面に設けてください。

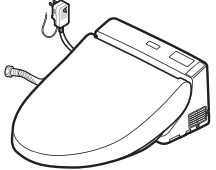
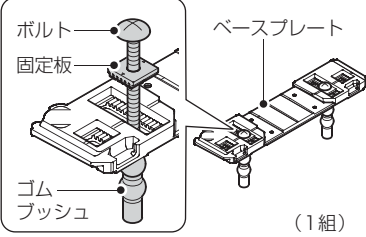
ウォシュレットを2台以上並べて設置される場合、隣のリモコンの信号を受けて誤作動する原因になります。  
ウォシュレット本体、リモコン、粉碎圧送部の3カ所の設定変更が必要です。  
手順はCOM-ETを参照ください。



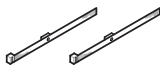
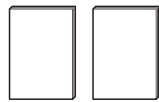
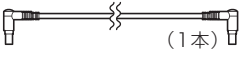
ベッドサイド水洗トイレに、トイレリフト・補高便座の取り付けはできません。  
※ただし、やわらか補高便座の取り付けは可能です。

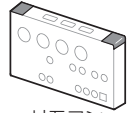

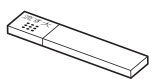




BL品(BLマーク証紙貼り付け品)において、当社が定める施工説明書などに基づく据付工事の瑕疵には(一財)ベターリビングのBL保険が利用できます。保険の詳細・お問合せは、下記ホームページをご覧ください。  
(一財)ベターリビング ホームページ <http://www.cbl.or.jp/> 電話番号 03-5211-0559

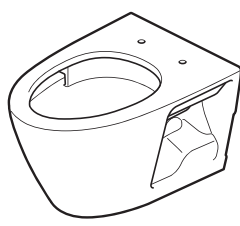


# 同梱部品


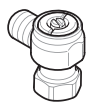

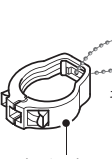
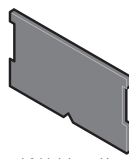

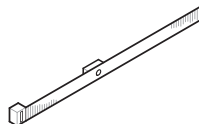



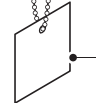
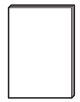
本体部	便器固定金具	スパッド
<b>本体部</b>  (1個)	便器固定用ナット (4個)  ワッシャー (4枚)  異形ゴムパッキン (2個)  平ゴムパッキン (2枚) 	スパッド  スカートパッキン  ゴムパッキン (大)  スプリングワッシャー (大)  締め付けナット 
	<b>フロントパネル</b>  (1個) ねじM4×8 (2本) 	袋ナット  ゴムパッキン (小)  スプリングワッシャー (小)  パッキンガイド  この部品は使用しません 

ウォシュレット	ベースプレート一式
<b>ウォシュレット本体</b>  (1個)	※分解しないでください。  (1組) ボルト 固定板 ベースプレート ゴム プッシュ

結束バンド	ペーパーホルダー
 (1個)	 (1個)
<b>結束バンド</b>  (2本)	<b>印刷物</b>  (各1部) 施工説明書 取扱説明書
<b>便器洗浄コード</b>  (1本)	

リモコン部	印刷物
リモコン (1個)  リモコンハンガー (1個)  流すボタン (1個)  乾電池 (単3形×2本)  アンカープラグ (3本)  ねじ (3本) 	<b>印刷物</b> ウォシュレット 取扱説明書 (1部) 

便器部	印刷物
<b>便器本体</b>  (1個)	<b>サイドカバー</b> サイドカバー (左) (1個)  サイドカバー (右) (1個) 

接続部材	壁固定部品	安全・表示部	印刷物
<b>配管部品</b> 排水ソケット (1個)  止水栓 (1個)  キャップ (1個)  クイックファスナー (1個)  断熱材 (1枚) 	ホースカバー固定板 (1個)  結束バンド (1本) 	注意ラベル (1枚)  開閉工具 (1個)  クランプ (1個)  注意札 (1枚) 	接続部材 施工説明書 (1部) 

は  
じ  
め  
に

見る 造作事例と事前配管について

COM-ETの

「給排水設備設計施工ガイド」をみる

スマートフォン、タブレット端末でQRコードを読み取ってURLへアクセスしてください。

パソコンからは下記URLへアクセスしてください。

<http://search.toto.jp/contents/navi/construction/wl/pdf/bedsidetoile.pdf>

※通信料はお客様のご負担となります。

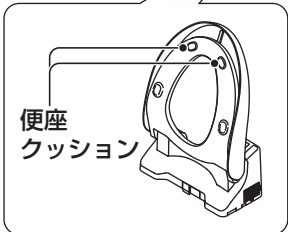
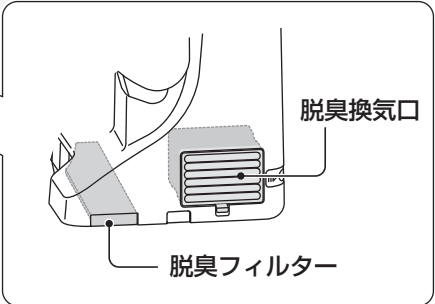
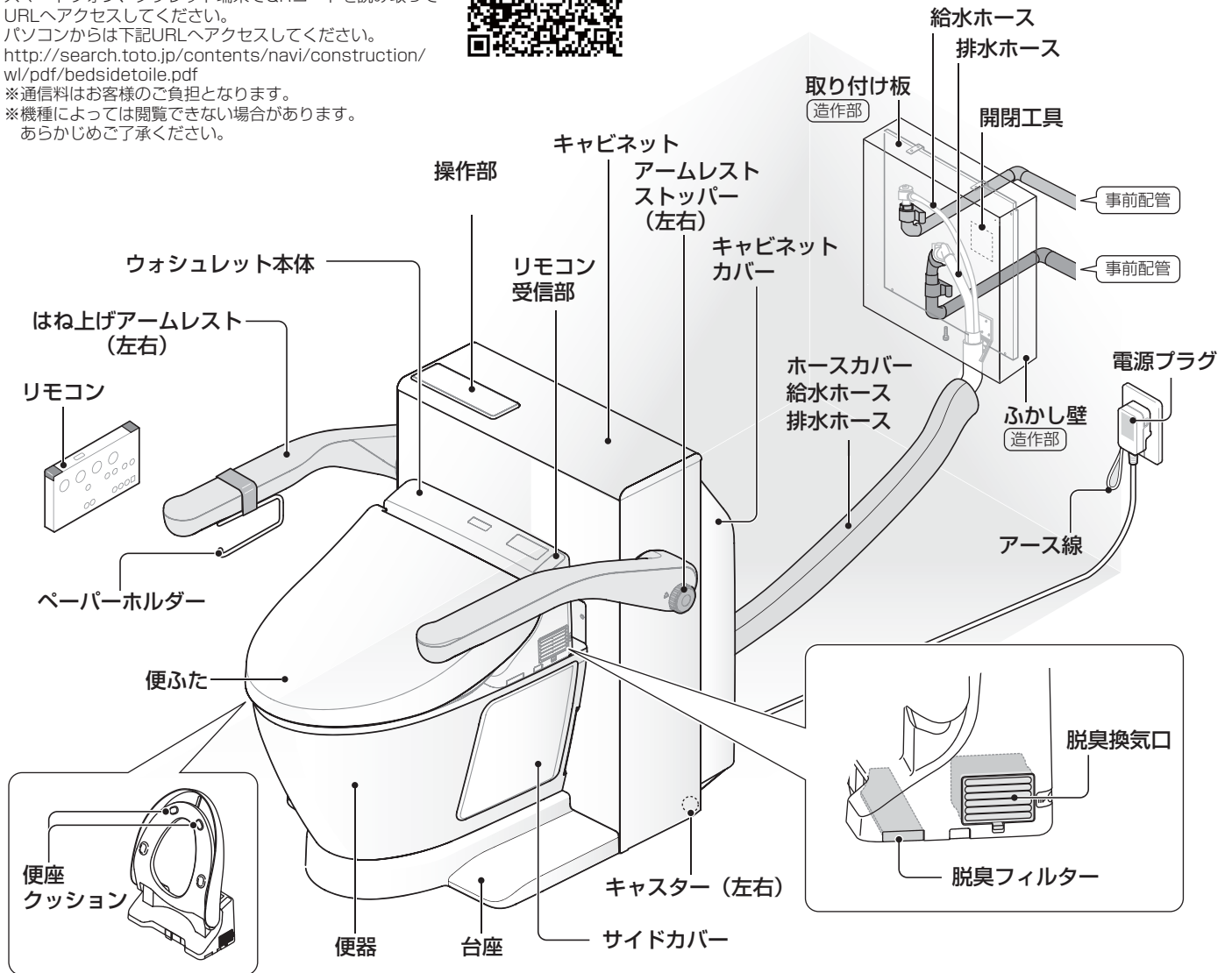
※機種によっては閲覧できない場合があります。

あらかじめご了承ください。

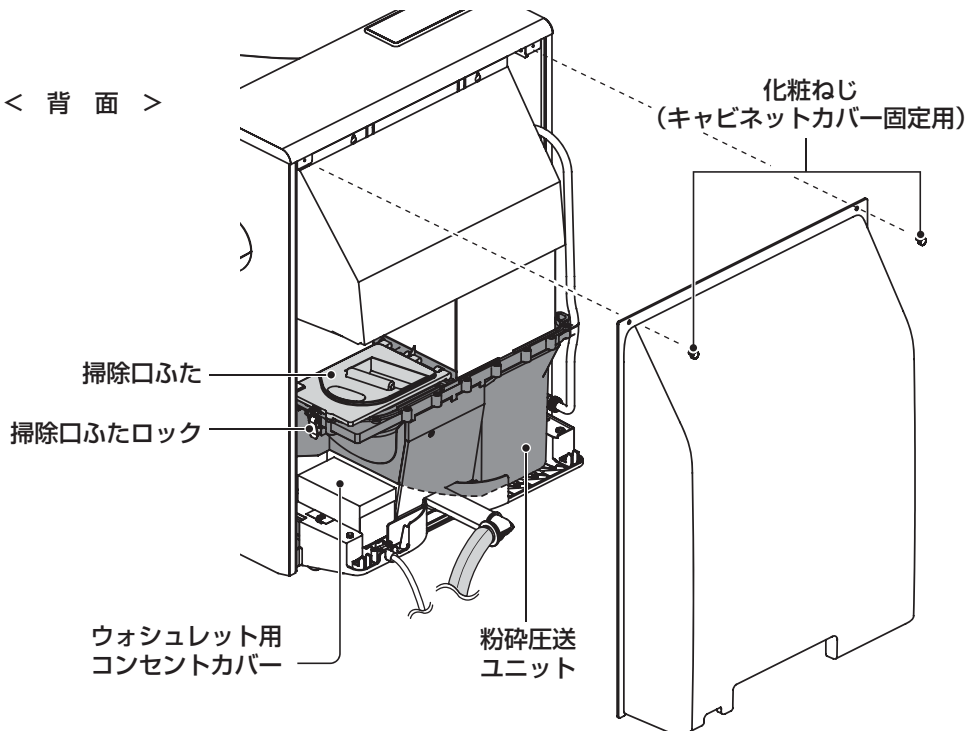


# 各部のなまえ

< 完成イメージ >



< 背面 >



# 施工手順


この施工手順に従ってベッドサイド水洗トイレを正しく取り付けてください。

- 1 配管部品を取り付ける
  - 2 壁固定部品を取り付ける
  - 3 本体部に便器を取り付ける
  - 4 ウォシュレット本体を取り付ける
  - 5 ウォシュレット用電源プラグ・アース線を接続する
  - 6 ウォシュレット用給水ホースを接続する
  - 7 便器洗浄コードを接続する
  - 8 給水ホース・排水ホースを接続する
  - 9 給水・排水部材仕上げ
  - 10 ベッドサイド水洗トイレの電源プラグを接続する
  - 11 試運転
  - 12 サイドカバーを取り付ける
  - 13 コーキング処理をする
  - 14 ペーパーホルダーを取り付ける
  - 15 リモコンを取り付ける
- 取り付け後の確認

## 1. 配管部品を取り付ける

### 1 取り付け前の確認

### ⚠ 注意



必ず実行

部品を取り付ける前に、必ず配管が所定の条件で施工されていることを確認する条件からはずれた場合、商品が正常に取り付かず、水漏れや故障の原因になります。

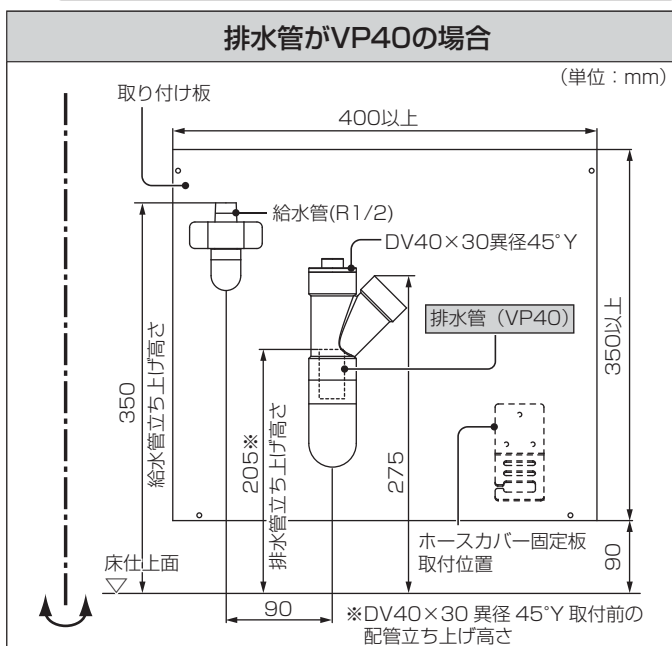
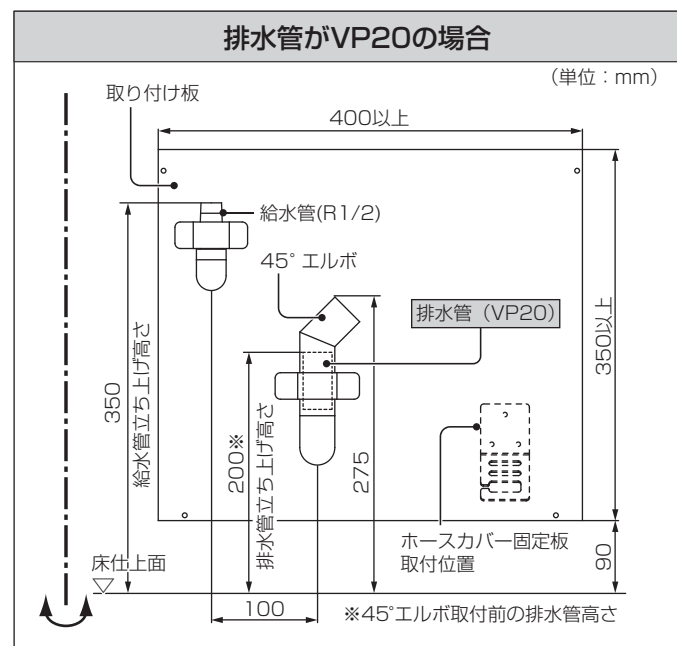
給水・止水栓と排水ソケットを取り付ける前に、管内のごみ、砂などを完全に取り除く管内に異物があると、商品の故障や水漏れの原因になります。

部品取り付けの前に、事前の配管工事を確認します。

**見る** COM-ETの「給排水設備設計施工ガイド」をご参照ください。



- |  |   |
|--|---|
| <input type="checkbox"/> <b>チェック①</b><br>排水管の末端部品の種類・位置・向き | <input type="checkbox"/> <b>チェック②</b><br>給水管のねじ(R1/2)と位置    |
| <input type="checkbox"/> <b>チェック③</b><br>取り付け板がしっかり固定されている | <input type="checkbox"/> <b>チェック④</b><br>ホースカバー固定板の取り付け位置確保 |



給水管、排水管、ホースカバーの位置関係は左右対象で設置が可能です。図は、配水管を右向きに設置した場合です。

はじめに

取り付けかた

## 2 排水ソケットを取り付ける

◆ 接続部材 配管部品 (P5参照)

### ⚠ 注意



必ず実行

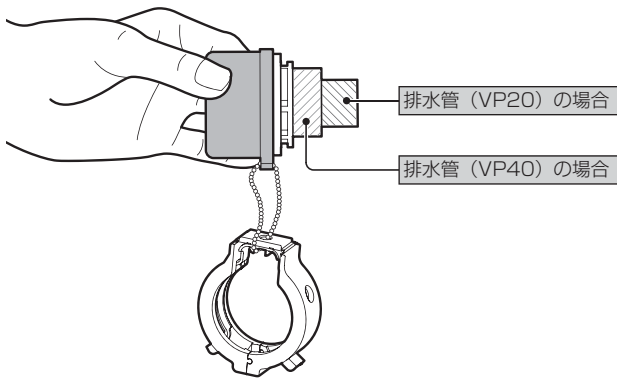
排水管に取り付ける際は、必ず塩ビ管用の接着剤を塗布する  
接着剤を付けなかったり、異なる接着剤を使用すると、接続ができず、水漏れの原因になります。

排水管のサイズを確認し、必ず所定の箇所に接着剤を塗布する  
接着箇所が異なると接続できず水漏れの原因になります。

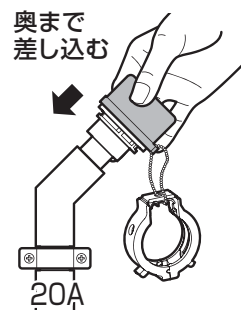
接続作業は、必ずキャップを付けたまま行う  
キャップが無いとシール面が破損し、水漏れの原因になります。

- ①塩ビ管用接着剤(溶剤タイプ)を用意する。
- ②塩ビ管用接着剤を、排水管サイズ(VP20/VP40)にあわせて塗布する。
- ③排水ソケットを奥まで確実に挿入する。

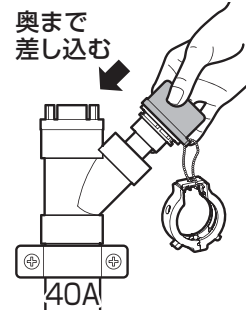
#### < 接着剤塗布位置 >



#### 排水管がVP20の場合



#### 排水管がVP40の場合



## 3 止水栓を取り付ける

◆ 接続部材 配管部品 (P5参照)

### ⚠ 注意



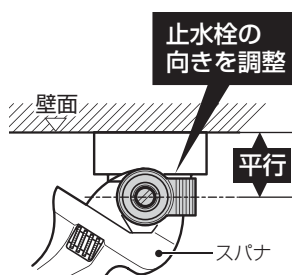
必ず実行

必ず同梱の止水栓(フィルター付き)を取り付ける  
異なった止水栓を使用すると、製品の故障や、水漏れの原因になります。

止水栓のシール面が傷付かないように、慎重に取り扱う  
シール面が傷つくと、水漏れの原因になります。

締め付け後、止水栓の向きが必ず壁面に対して平行になるように合わせる  
向きが合っていないと、商品が正常に付かず水漏れの原因になります。

- ①止水栓を給水管(R1/2)に接続し、向きをスパナで調節する。壁面に対して平行のこと。(下図)
- ②取り付け後、止水栓を閉じる。



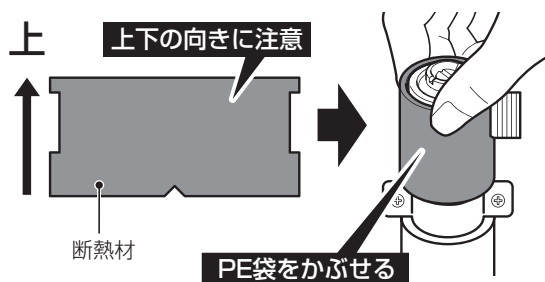


## 4 断熱材を止水栓に貼り付ける

◆ 接続部材 配管部品 (P5参照)

部品取り付けの前に、事前の配管工事を確認します。

- ①セパレーターをはがし、断熱材の上下の向きをあわせて止水栓に巻きつける。
- ②はがれないように、しっかりと貼り付ける。
- ③貼り終わったら、止水栓の包装に使用していたPE袋をかぶせる。



## 2. 壁固定部品を取り付ける

### ホースカバー固定板・結束バンドを取り付ける

◆ 接続部材 壁固定部品 ホースカバー固定板、結束バンド (P5参照)

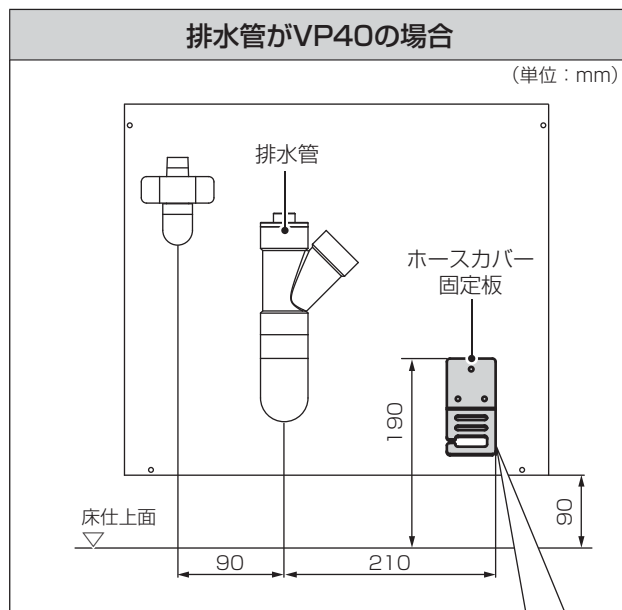
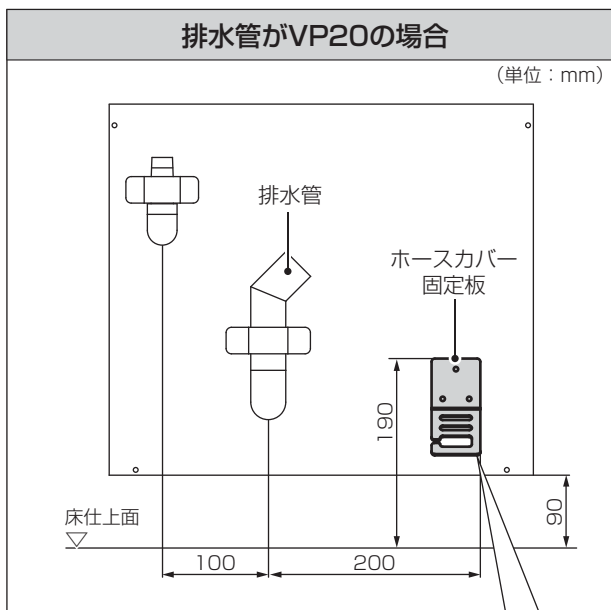
#### ⚠ 注意



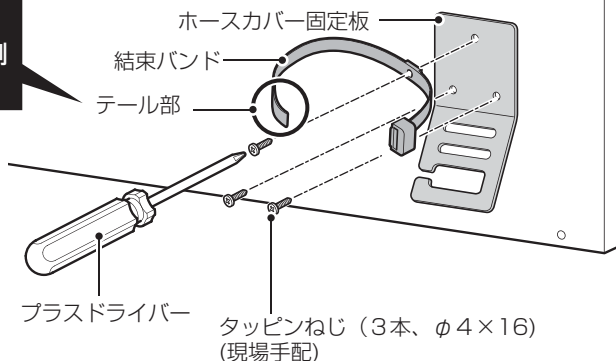
必ず実行

必ず接続部材に同梱の結束バンドを取り付ける  
異なった結束バンドを使用すると、商品が破損し、故障や水漏れの原因になります。

- ①タッピンねじ3本(φ4×16)(現場手配)で取り付ける。
- ②結束バンドは「**8.給水ホース・排水ホースを接続する**」で使用します。



結束バンドの向き  
テール部が排水管側  
になるようにする



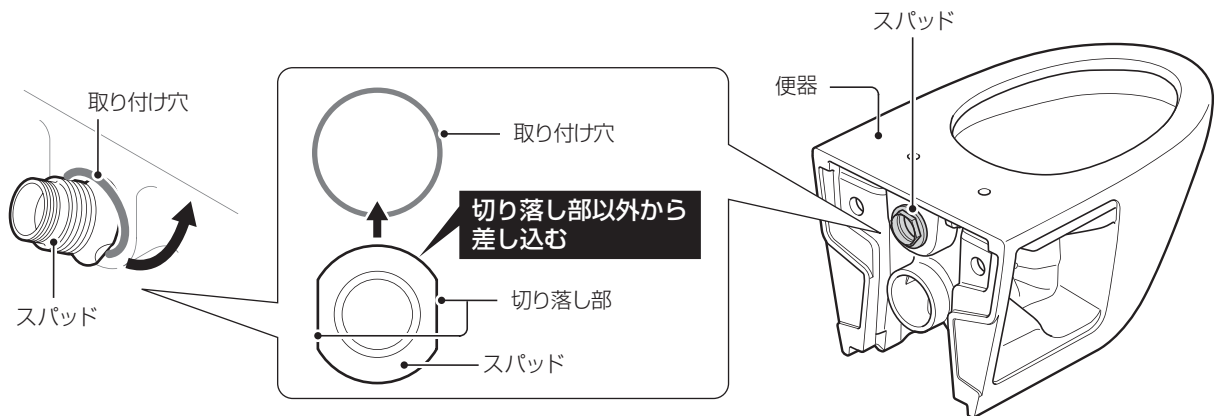
# 3. 本体部に便器を取り付ける

## 事前準備

◆ 本体部 スパッド (P5参照)

① スパッドを便器の取り付け穴に差し込む。

図のように切り落し部以外から取り付け穴に入れ、切り落し部を通過させるように差し込んでください。  
※はじめに切り落し部から差し込むと、取り付け穴と干渉し、通過しない場合があります。

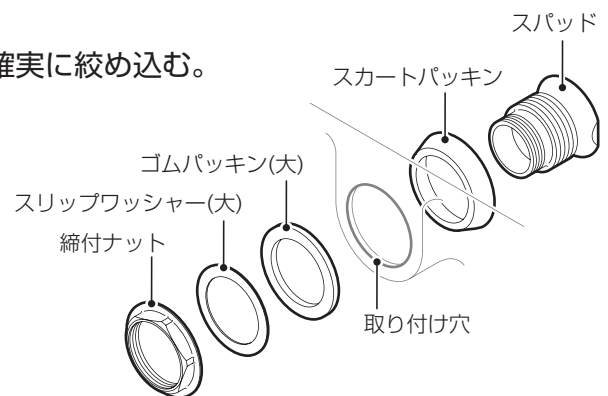


② スカートパッキンを取り付け穴に差し込み、スパッドに組み込む。

③ ゴムパッキン(大)、スリップワッシャー(大)の順にスパッドに組み込む。

④ あらかじめ指に締付ナットを通し、スパッドを取り付け穴の中心で引き寄せ、締付ナットを手で締め込む。

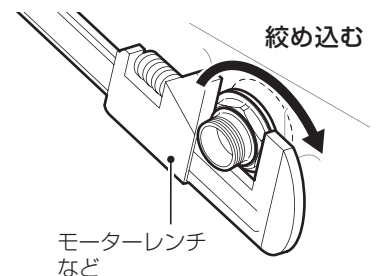
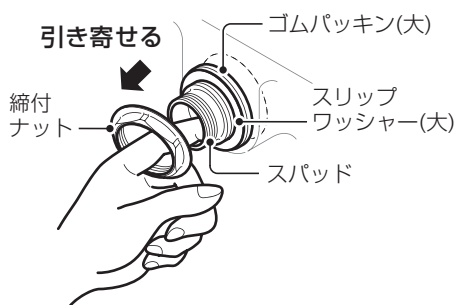
⑤ モーターレンチなどの工具を使用して締付ナットを確実に絞め込む。



締付ナットを引き寄せる

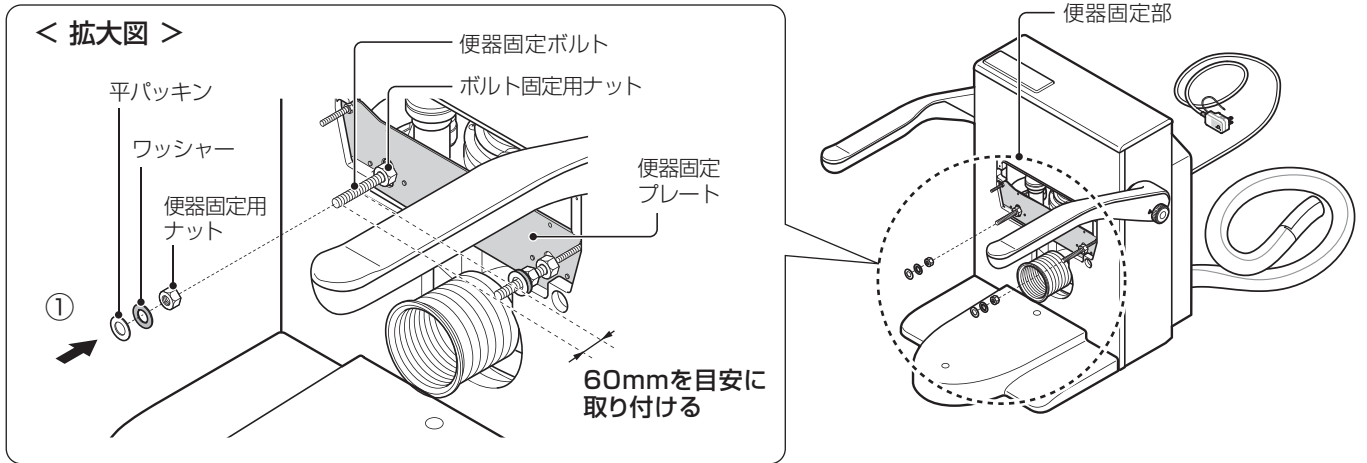
手で締め込む

工具で締め込む



# 1 便器の取り付け

◆ 便器部 便器本体 (P5参照)

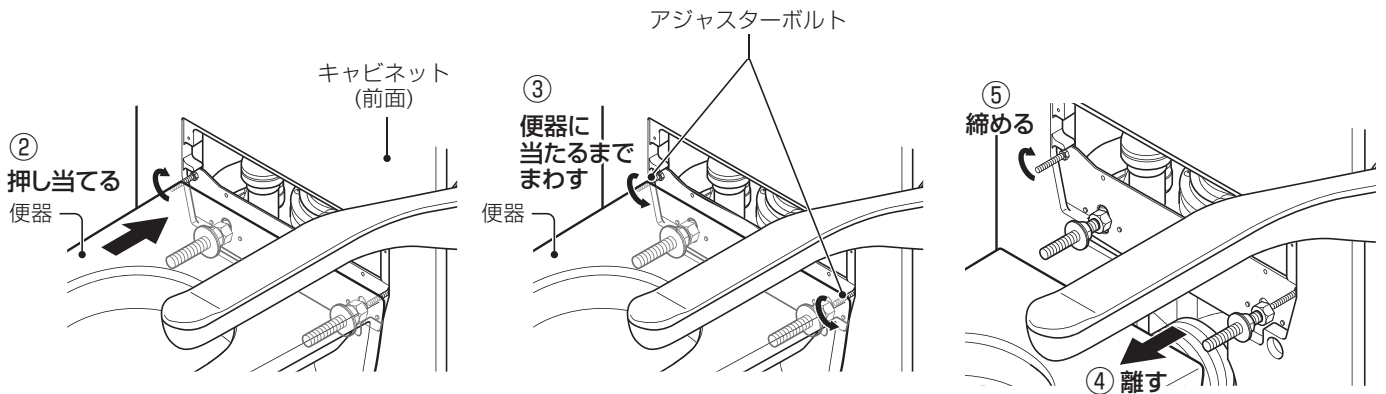


- ① 便器固定ボルトにあらかじめ取り付けられているボルト固定用ナットをスパナで緩め、同梱の便器固定用ナット、ワッシャー、平パッキンを便器固定用ボルトの先端から60mmのところを目安に取り付ける。
- ② 便器をキャビネット前面に押しあてる。(便器位置決め)
- ③ アジャスターボルトを、ボルトの先端が便器に当たるまでまわす。(アジャスターボルト調整)
- ④ 便器をキャビネット前面から離す。
- ⑤ アジャスターボルト位置を固定する。

便器位置決め

アジャスターボルト調整

アジャスターボルト固定



- ⑥ 排水フレキジョイントを便器に差し込み、マイナスドライバーを使いホースバンド(同梱品)で確実に固定する。

◆ 本体部 ホースバンド (P5参照)

## ⚠ 注意

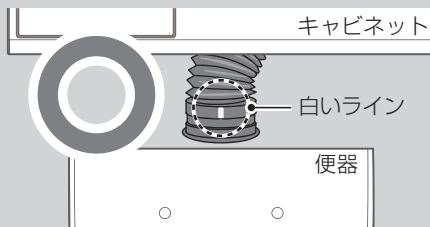
ホースバンドは、確実に固定する  
確実に固定できていないと、水漏れの原因になります。

排水フレキジョイントを便器に取り付ける際は、必ず白いラインを上にして取り付ける  
排水フレキジョイントがねじれて便器が詰まり、室内に汚水があふれ、浸水の原因になります。

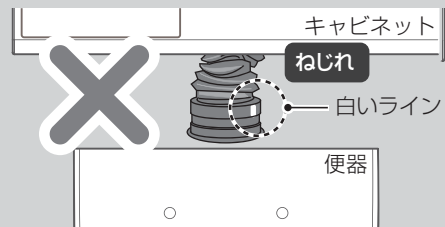


必ず実行

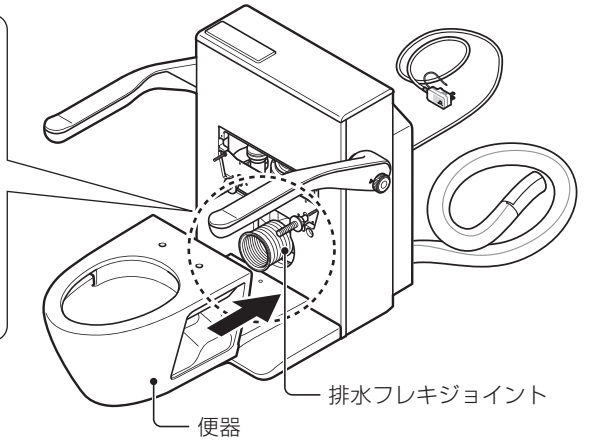
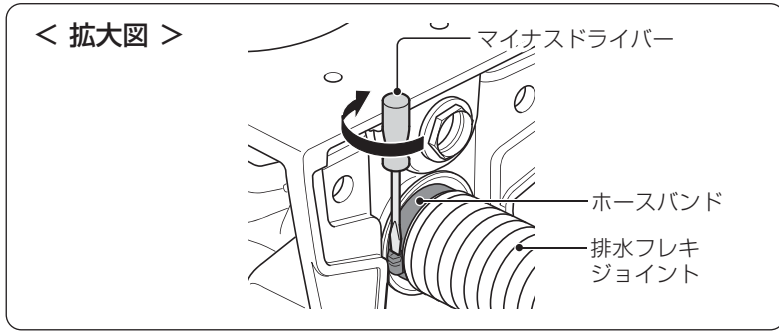
< 正しい取り付け方 >



< 誤った取り付け方 >



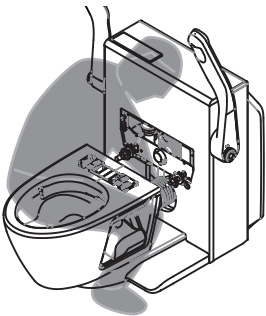
取り付けかた



● 排水フレキシジョイント取り付けのコツ

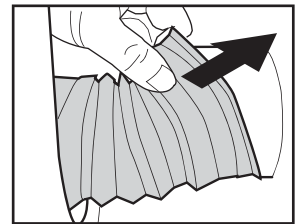
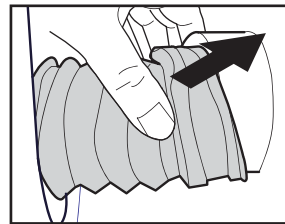
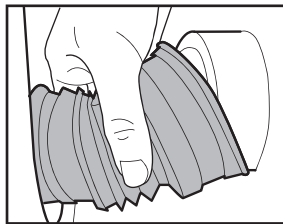
ポイント1

便器が動かないように、便器に乗って作業する。



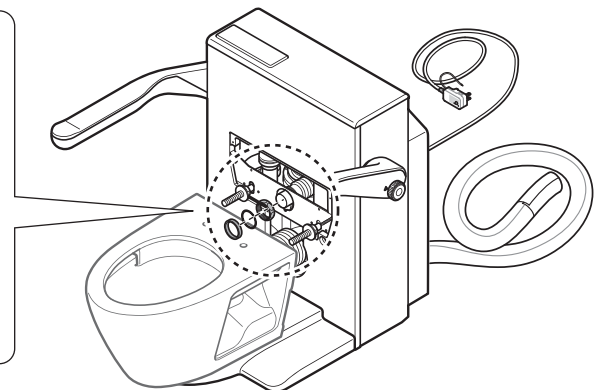
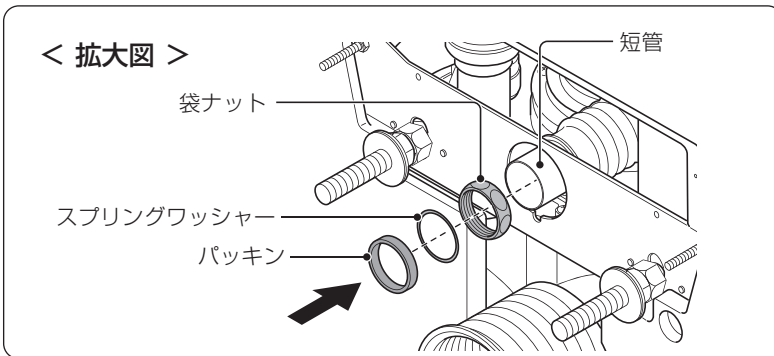
ポイント2

排水フレキシジョイントの下側を先に挿入し、上側を押し上げる。  
(または、上側をつまんで引っ張り上げる)  
※水や石けんをつけると挿入しやすくなります。



⑦短管に袋ナット、スプリングワッシャー、パッキンを取り付ける。

◆ 本体部 ホースバンド (P5参照)



⑧便器を便器固定プレートから50mmのところまで近づけ、短管をスパッドの奥に突き当たるまで挿入し、袋ナットをスパナで締め付ける。

◆ 本体部 ホースバンド (P5参照)

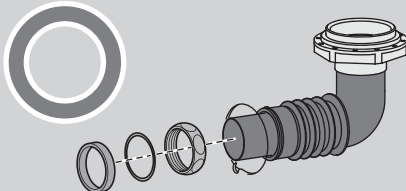
⚠ 注意

袋ナット締結時、短管についている給水連結管がねじれないように注意する  
水漏れの原因になります。

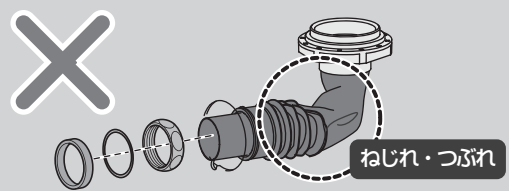


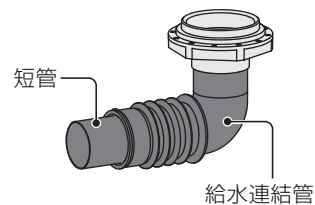
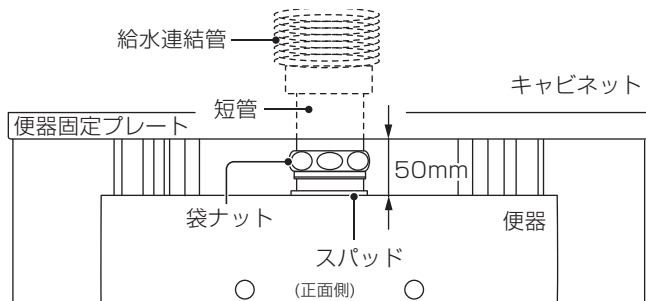
必ず実行

< 正しい取り付け方 >



< 誤った取り付け方 >





⑨便器をキャビネット前面に押し当てた後、正面側から異形ゴムパッキン、ワッシャー、便器固定用ナットを仮固定する。(左右2カ所)

⑩①で緩めたボルト固定用ナット(左右2カ所)を便器固定プレートにスパナで固定する。

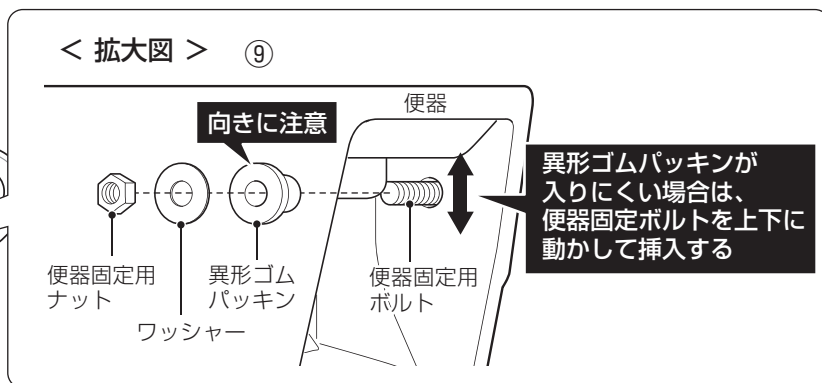
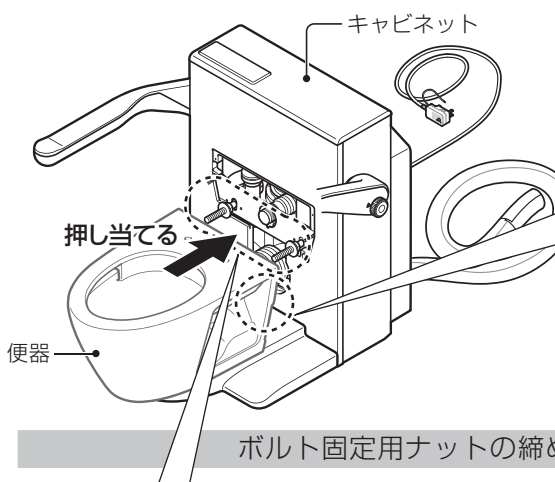
⑪便器背面側の便器固定用ナットを手締めし、便器に押し付ける。

⑫便器正面側の便器固定用ナットを、スパナで固定する。

◆ 本体部 異形ゴムパッキン、ワッシャー、便器固定用ナット (P5参照)

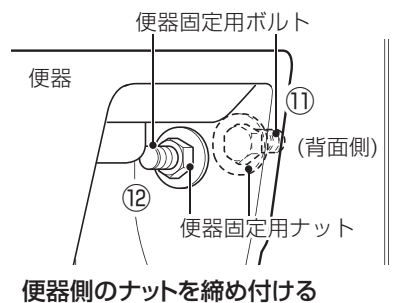
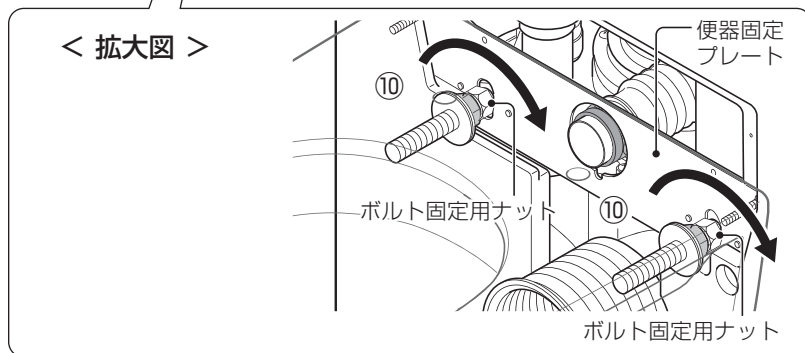
便器を押し当てる

便仮固定用ナットの仮固定



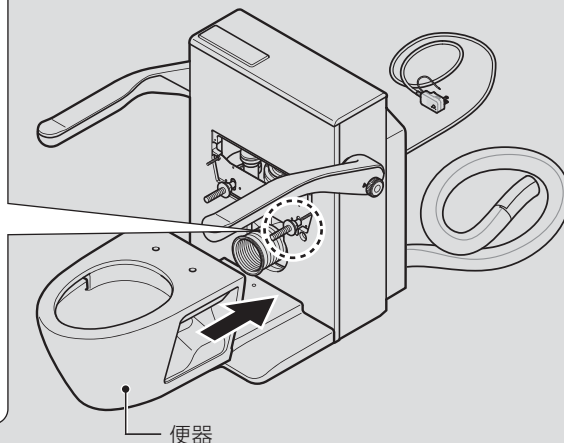
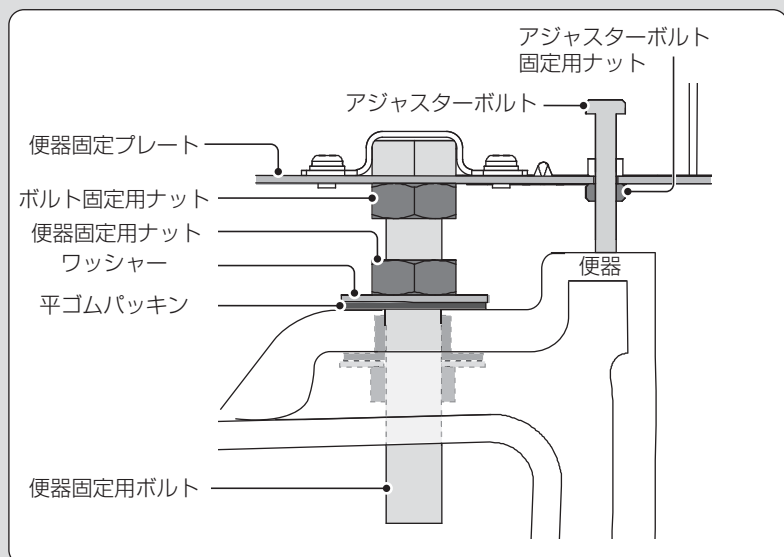
ボルト固定用ナットの締め付け

便器の固定



便器側のナットを締め付ける

< 便器取り付けイメージ(断面図) >



取り付けかた

# 4. ウォシュレット本体を取り付ける

◆ ウォシュレット ウォシュレット本体、ベースプレート一式 (P5参照)

## ⚠ 注意



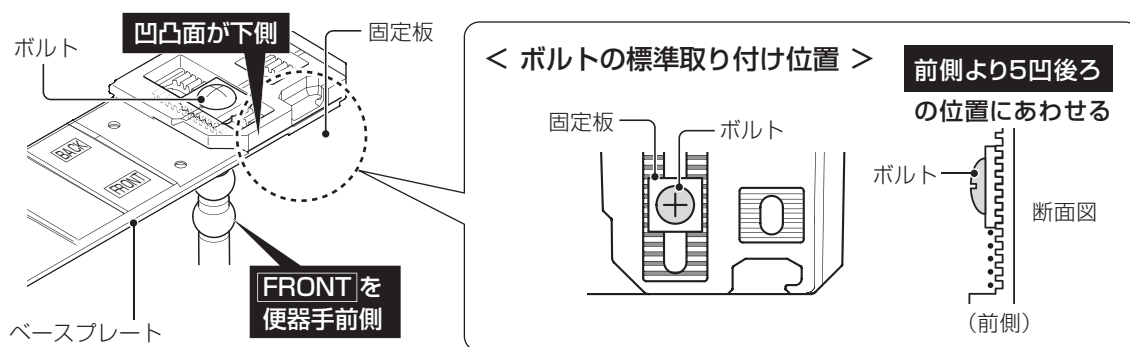
必ず実行

**必ず同梱のベースプレートを取り付ける**

異なったベースプレートを使用すると、商品が破損し、故障や水漏れの原因になります。

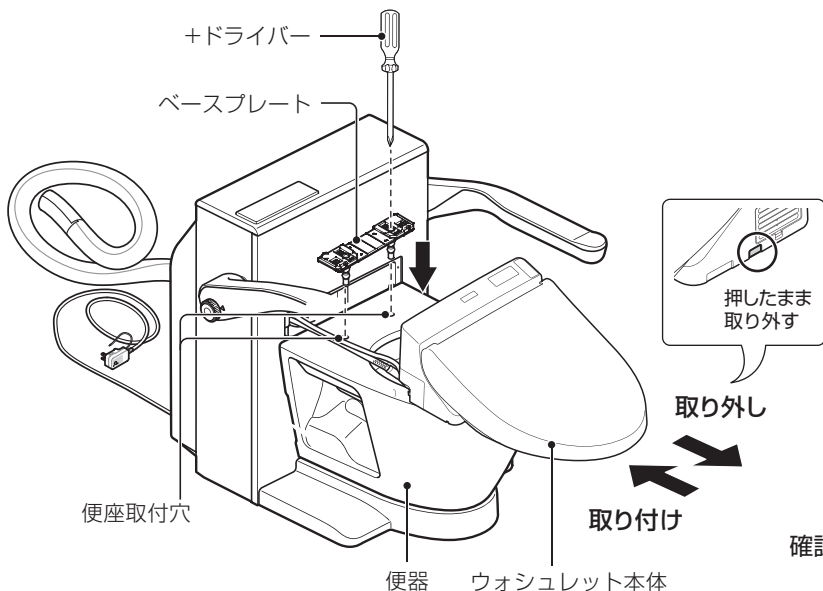
- ①ベースプレートのボルトの取り付け位置を調節する。
- ②便器にベースプレートを仮固定する。ベースプレートが動かなくなるまで、ボルト(2カ所)を締める。
- ③ウォシュレット本体を取り付け、取り付け確認をし、再度ウォシュレットを取り外す。(図参照)
- ④ボルトが回らなくなるまで、しっかり締め付ける。
- ⑤ウォシュレット本体を取り付ける。

### ボルトの位置を調節する



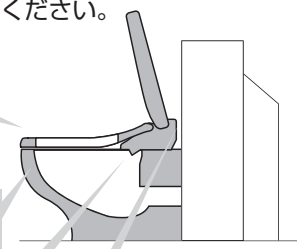
### ベースプレート/ウォシュレット本体を仮固定する

### 取り付け確認



次の場合は、もう一度ベースプレートのボルト取り付け位置を調節してください。

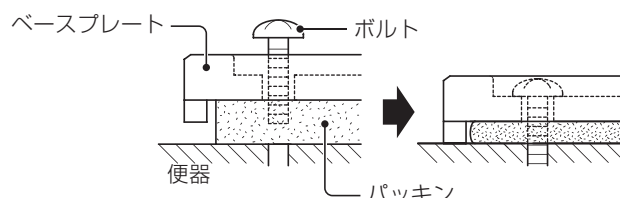
- チェック①**  
内側から便器のふちが見える
- チェック②**  
先端が便器のふちより出すぎている
- チェック③**  
ノズル部分が便器に干渉している
- チェック④**  
キャビネットにあたっている



確認が終わったら、ウォシュレット本体を取り外す。

### ボルト締め付け

回らなくなるまでボルトをしっかり締め付ける。



# 5. ウォシュレット用電源プラグ・アース線を接続する

## ⚠ 注意



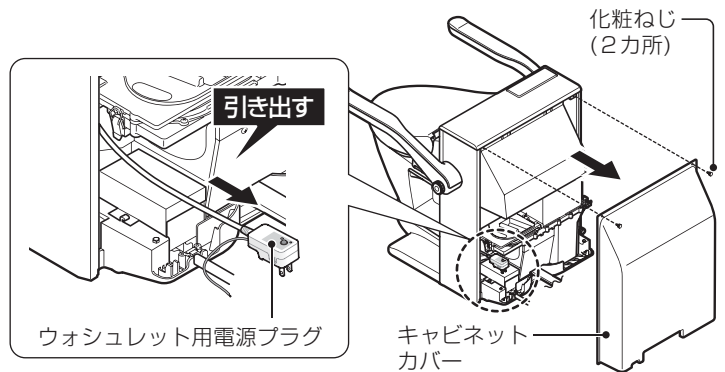
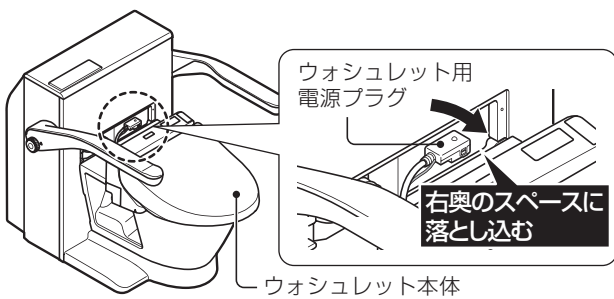
必ず実行

コンセントを差し込む際、電源プラグにアース線を挟み込まないように注意する  
ショートの原因になります。

- ①ウォシュレット本体を仮置きし、電源プラグを正面に向かって右奥のスペースに落とし込む。
- ②化粧ねじを取り外し、キャビネットカバーを開け、電源プラグを引っ張り出す。
- ③アース線をコンセントのアース端子に接続する。
- ④電源プラグをコンセントに差し込む。
- ⑤コンセントカバーをフックに引っ掛けて固定する。

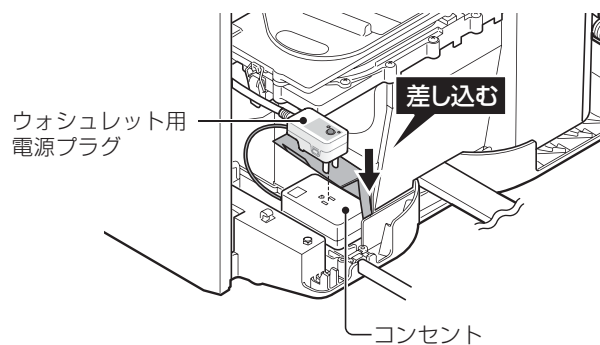
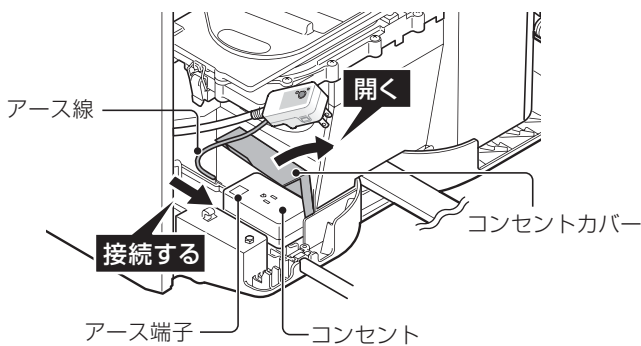
正面から 電源プラグを落とし込む

背面から 電源プラグを引き出す

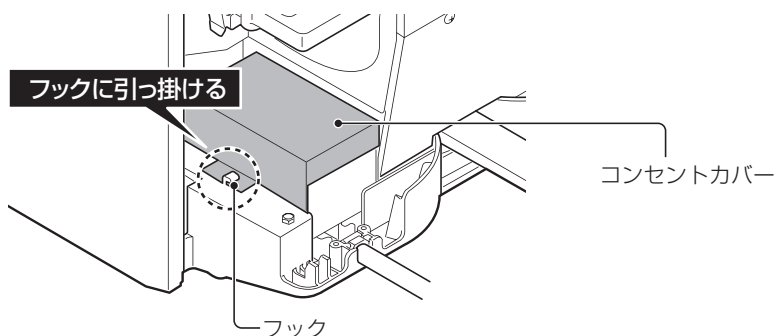


アース端子に接続する

コンセントに差し込む



コンセントカバーを閉じる



取り付けかた

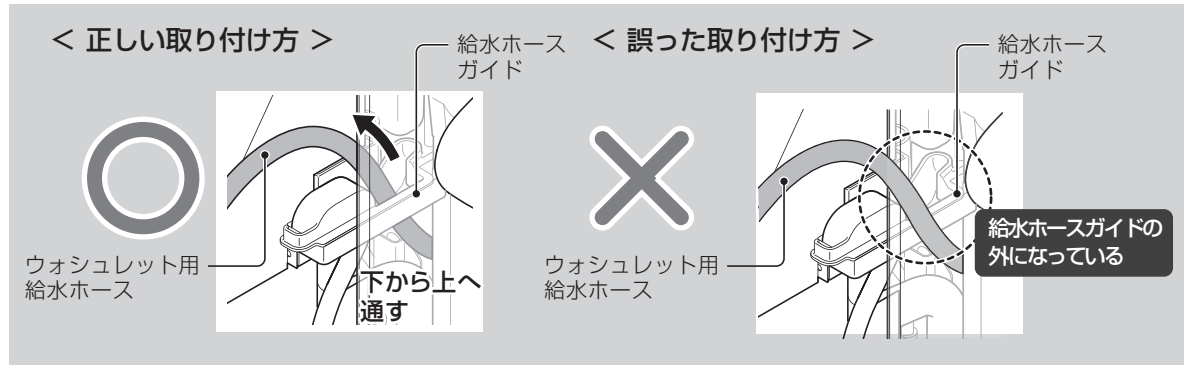
# 6. ウォシュレット用給水ホースを接続する

## ⚠ 注意

ウォシュレット用給水ホースに折れ曲がりがないか確認する  
正しく取り付けしていないと、水漏れの原因になります。



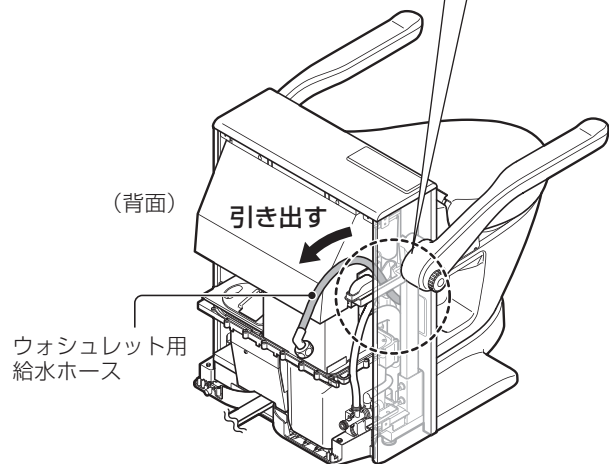
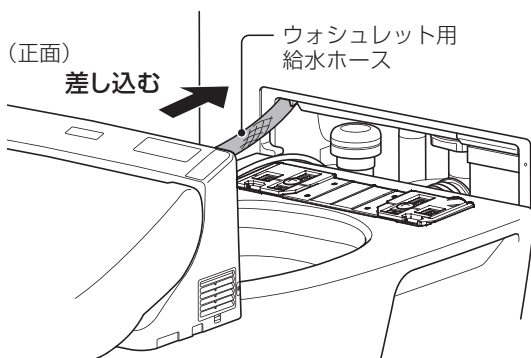
必ず実行



- ①ウォシュレット用給水ホースを正面から差し込み、背面から引き出す。
- ②ウォシュレット用給水ホースを分岐付電磁弁と接続する。
- ③ウォシュレット用給水ホースに折れ曲がりがないか確認する。

正面から ホースを差し込む

背面から ホースを引き出す



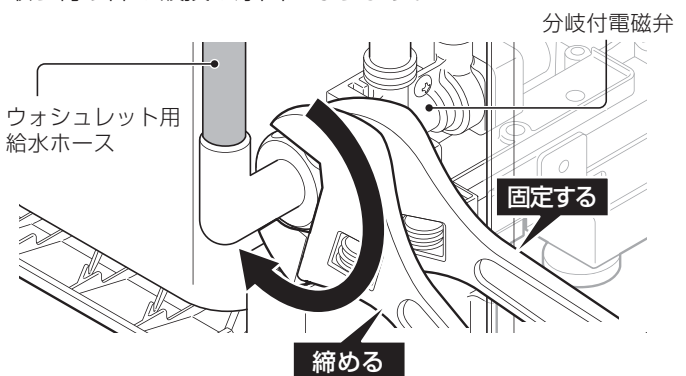
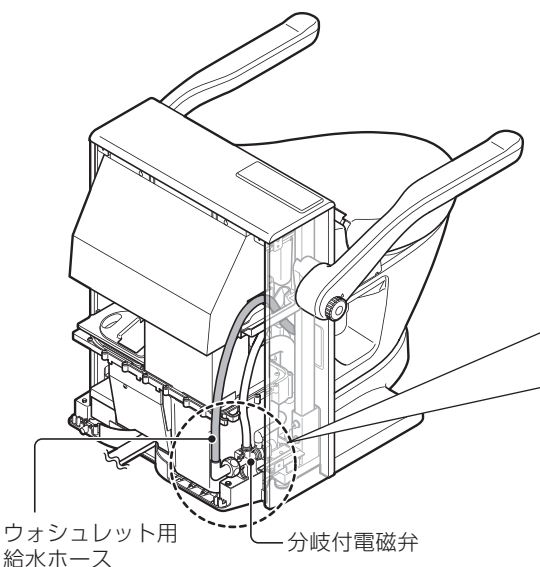
分岐付電磁弁に接続する

## ⚠ 注意

必ず、2つのスパナを使い、1つのスパナで分岐付電磁弁を固定しながら締め付ける  
取り付け部の破損の原因になります。



必ず実行





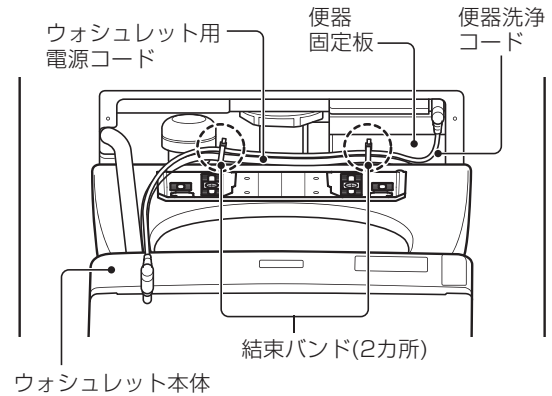
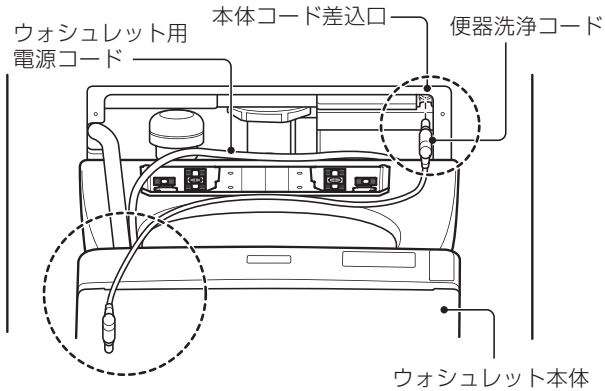
## 7. 便器洗浄コードを接続する

◆ 本体部 便器洗浄コード、結束バンド、フロントパネル、ねじ(M4×8、2本) (P5参照)

- ① 便器洗浄コードを本体のコード差込口に取り付ける。
- ② ウォシュレット用電源コードと便器洗浄コードをまとめ、結束バンドを便器固定板の穴に通して固定する。(2カ所)
- ③ 便器洗浄コードをウォシュレット本体に取り付ける。
- ④ ねじ(M4×8、2本)で、フロントパネルを取り付ける。

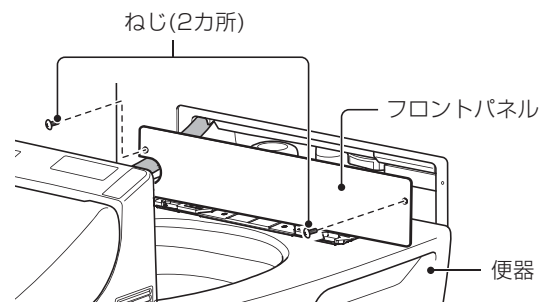
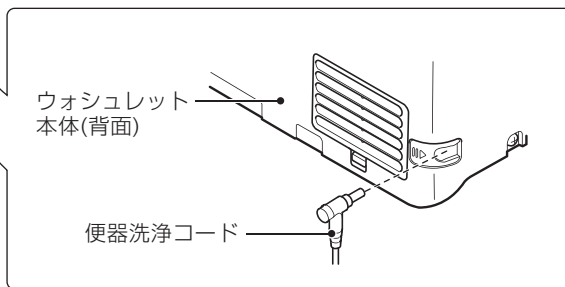
ベッドサイド水洗トイレ側 差込口に取り付ける

結束バンドで固定する



ウォシュレット本体側 差込口に取り付ける

フロントパネルを取り付ける

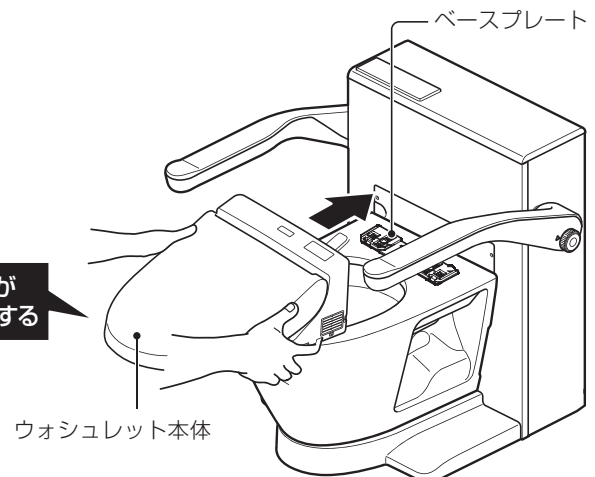


取り付けかた

## ウォシュレット本体を取り付ける

ウォシュレット本体をベースプレートに取り付ける。

手前に引っ張って商品がはずれないことを確認する



## 8. 給水ホース・排水ホースを接続する

### ⚠ 注意

給水・排水ホース接続作業の際は、直前までキャップを外さない  
ホースの接続部が露出していると、シール部を傷めて水漏れの原因になります。

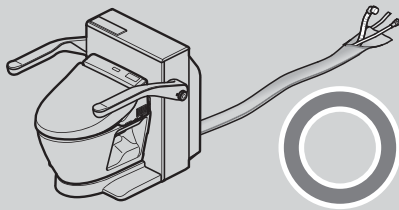
給水・排水ホース接続作業の際は、ホースを無理に曲げたりねじったりしない  
ホースを無理に曲げたりねじったりすると、通水部がキンクしたり傷んで、  
商品の故障や水漏れの原因になります。

給水・排水ホースはとぐろを巻いた状態で接続しない  
ホースの接続部が露出していると、シール部を傷めて水漏れの原因になります。

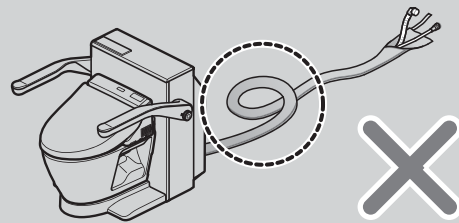


禁止

< 正しい取り付け方 >

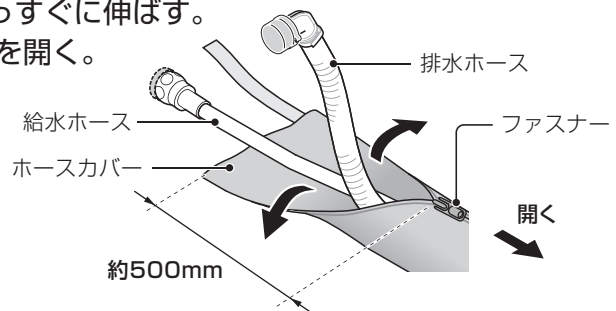


< 誤った取り付け方 >



### 1 接続前の準備

- ①給水・排水ホース接続作業の前に、ホースをまっすぐに伸ばす。
- ②ホースカバーの先端約500mmほどファスナーを開く。



### 2 排水ホースの接続

### ⚠ 注意



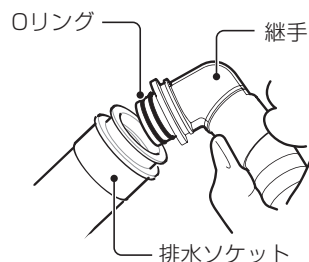
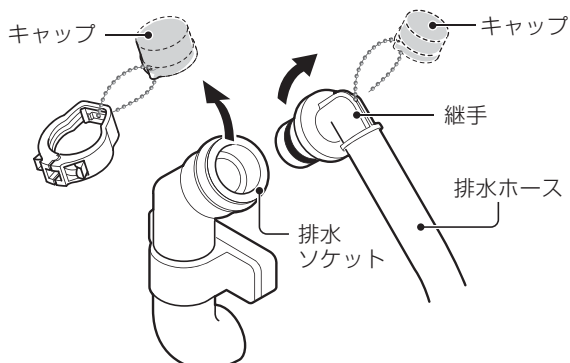
禁止

排水ホース接続作業の際は、Oリングを傷つけない  
Oリングが傷つくと、水漏れの原因になります。

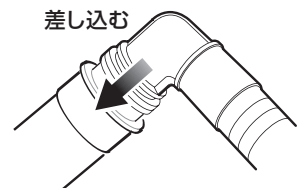
- ①排水ホースおよび排水ソケットのキャップを取り外す。
- ②排水ホースの継手を排水ソケットに差し込む。

キャップを取り外す

差し込む



差し込む



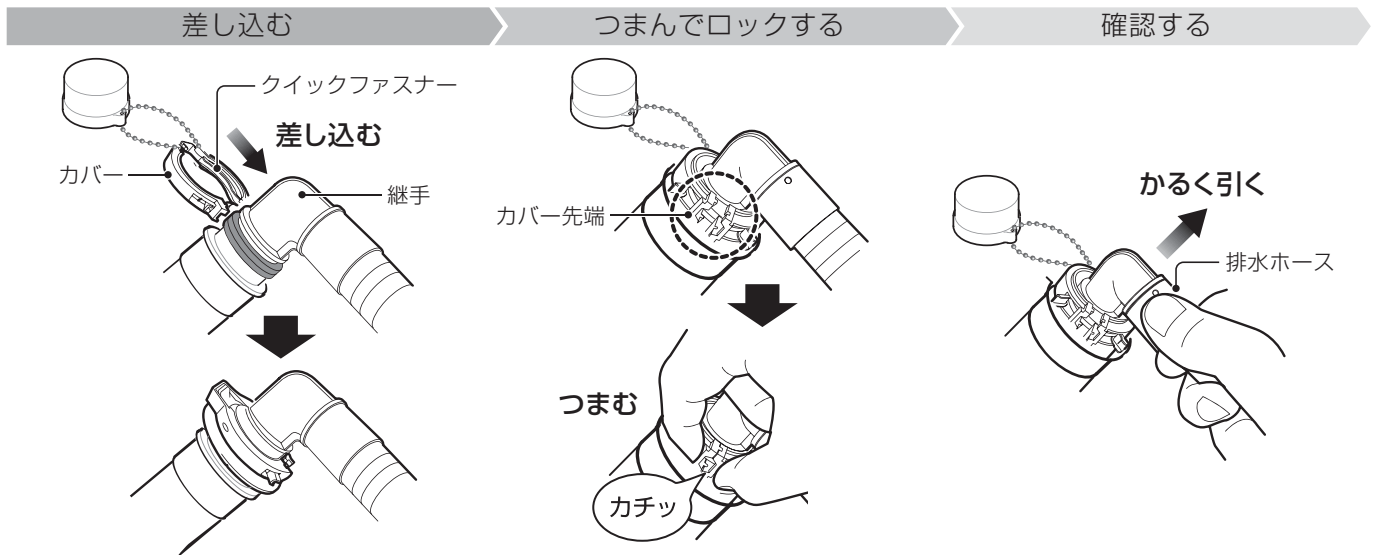
## ⚠ 注意



**クイックファスナーが確実に差し込まれていることを確認する**  
クイックファスナーが確実に差し込まれていないとカバーは閉じません。  
そのまま放置すると水漏れの原因になります。

### ③クイックファスナーを取り付ける。

- ・クイックファスナーを確実に差し込む。
- ・カバーの先端(開いた部分)を指でつまんで閉める。「カチッ」と音がしてロックしたことを確認する。
- ・排水ホースを持ってかるく引き、確実に接続されていることを確認する。



## 3 給水ホースの接続

## ⚠ 注意



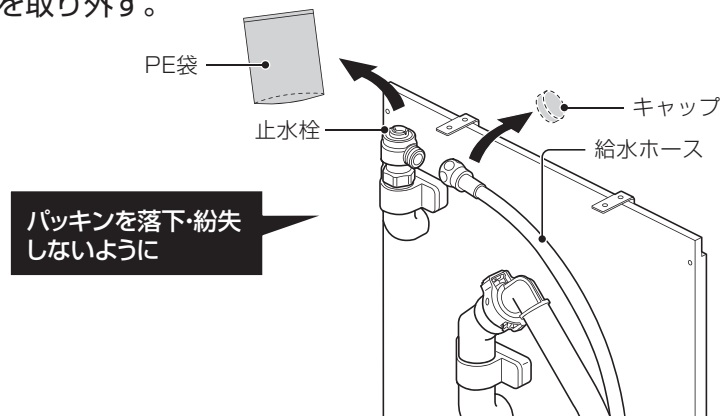
**給水ホース接続作業の際は、パッキンを傷つけない**  
パッキンが傷つくと、水漏れの原因になります。



**給水ホース接続の前に、パッキンが袋ナットの奥にあることを確認する**  
パッキンがないと、止水ができず水漏れします。

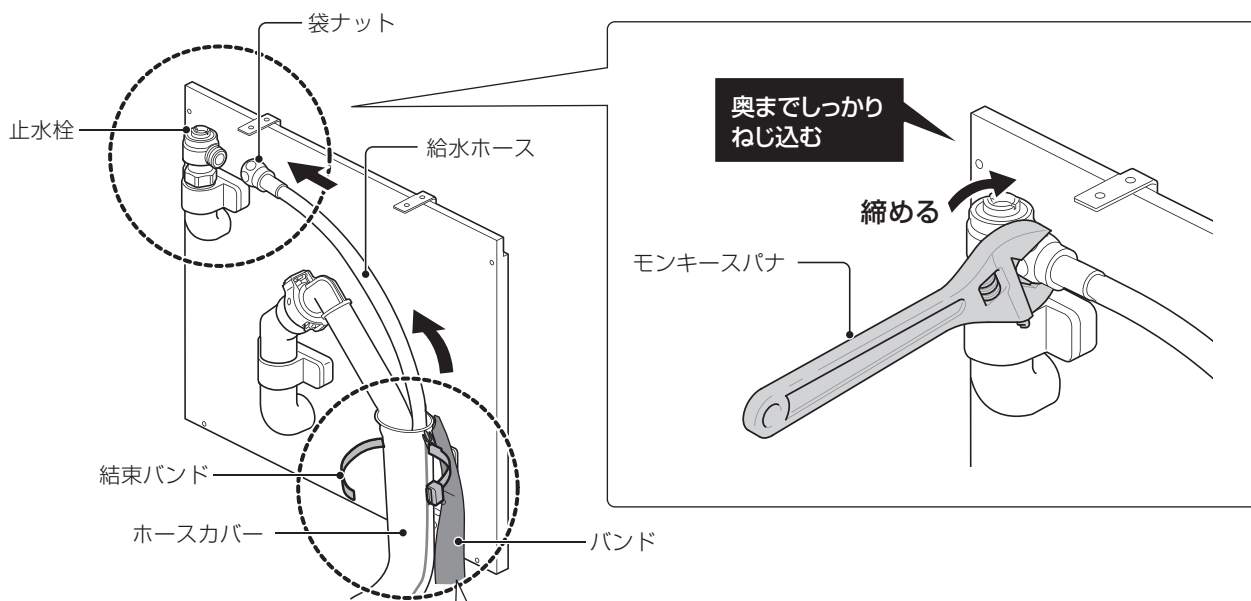
**必ず、袋ナットに付属しているパッキンを使用する**  
異なるパッキンを使用すると、止水ができず水漏れの原因になります。

### ①給水ホースのキャップと止水栓のPE袋を取り外す。

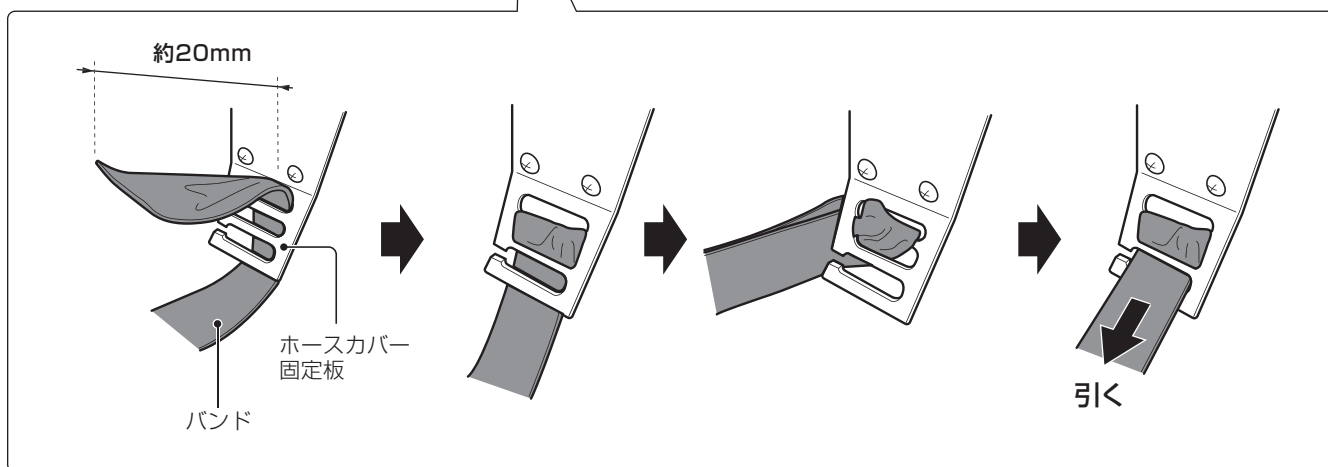


- ②給水ホースの袋ナットを止水栓にねじ込む。
- ③ホースカバーのバンドをホースカバー固定板に取り付ける。
- ④給水・排水ホース、ホースカバーを結束バンドで束ねて固定する。
- ⑤ホースカバーのファスナーを閉じる。

給水ホースを止水栓に取り付ける

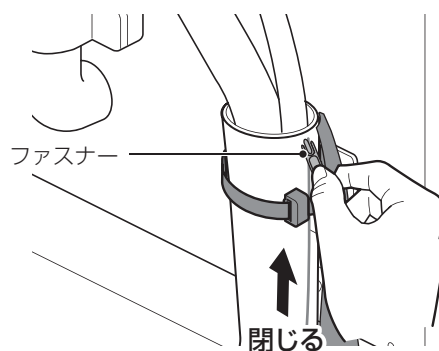
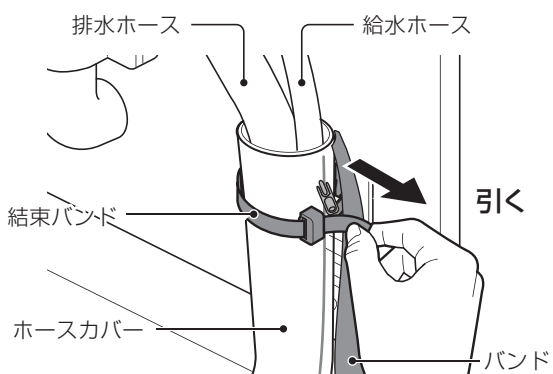


ホースカバーのバンドを取り付ける



ホースカバーを固定する

ファスナーを閉じる



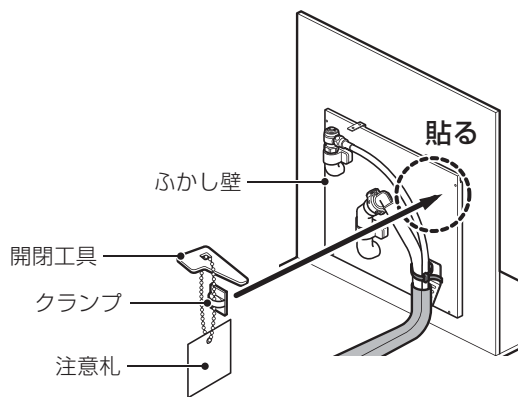
## 9. 給水・排水部仕上げ

◆ 接続部材 安全・表示部 注意ラベル、開閉工具、クランプ、注意札 (P5参照)

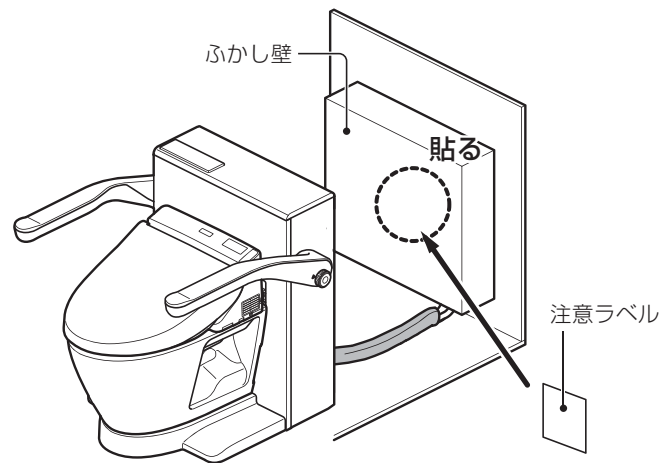
**おねがい** 開閉工具、注意札は、必ず取り付け板の見やすい位置に貼り付けてください。  
工具がなくなる原因になります。

- ①開閉工具、注意札を取り付ける。
- ②注意ラベルを見やすい位置に貼り付ける。

ふかし壁内部に貼る



ふかし壁外部に貼る



## 10. ベッドサイド水洗トイレの電源プラグを接続する

### ⚠ 注意



必ず実行

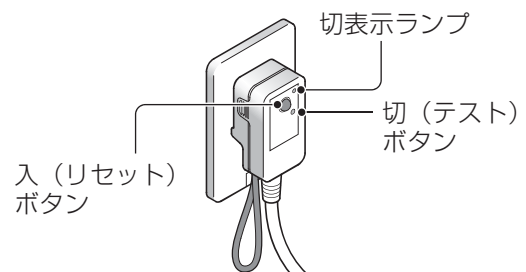
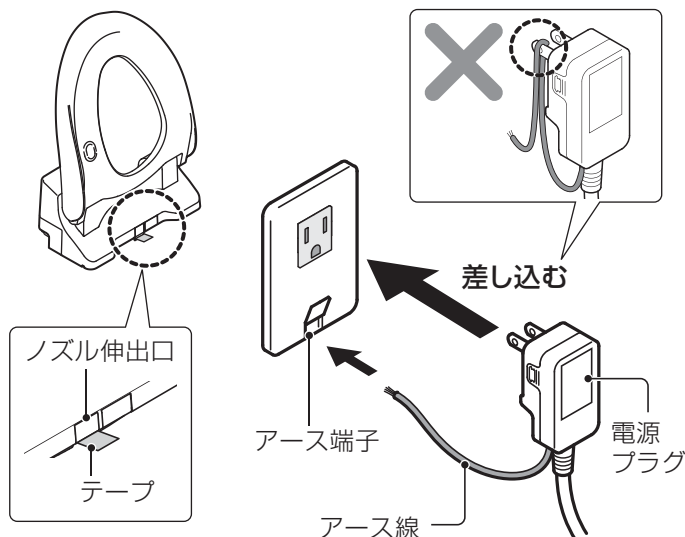
電源プラグを差し込む際、電源プラグにアース線をはさみ込まないよう注意する  
ショートの原因になります。

- ①ノズル伸出口に貼ってあるテープをはがす。
- ②アース線をアース端子に接続する。
- ③電源プラグをコンセントに差し込む。ノズルがいったん出て戻る初期動作を行うか確認する。
- ④電源プラグの「入」・「切」ボタンを押して、正常に動作することを確認する。

テープをはがす

差し込む

動作確認



「切(テスト)」ボタンを押す → 「切表示」ランプが点灯  
「入(リセット)」ボタンを押す → 「切表示」ランプが消灯

以上のように作動すれば正常です。

切表示ランプが点灯しているときには通電されません。  
確認後は必ず「入(リセット)」ボタンを押す。

# 11. 試運転 (各項目を確認後、□に✓してください)

## 試運転前に必ず確認してください!

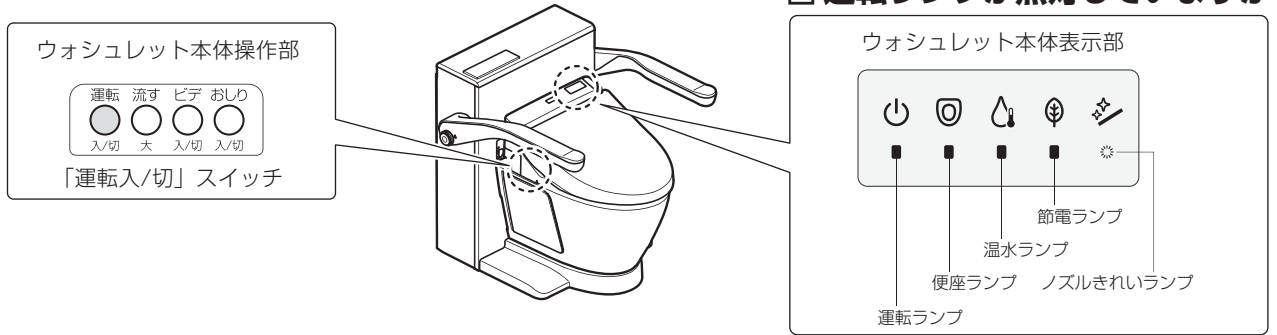
試運転の前および試運転完了時は必ずウォシュレット本体操作部

「運転入/切」スイッチが「入」になっていることを確認してください。

「入」のときは、ウォシュレット本体表示部の「運転」ランプが点灯します。

「運転入/切」スイッチが「切」のときは、電源プラグをコンセントに差し込んでもウォシュレットは動作しません。

※お客様に引き渡すまでに時間があっても「運転入/切」スイッチを切らないでください。



## □ 運転ランプが点灯していますか

## 1 水漏れの点検

### □ 配管接続部がゆるんでないですか

### □ 水漏れはないですか

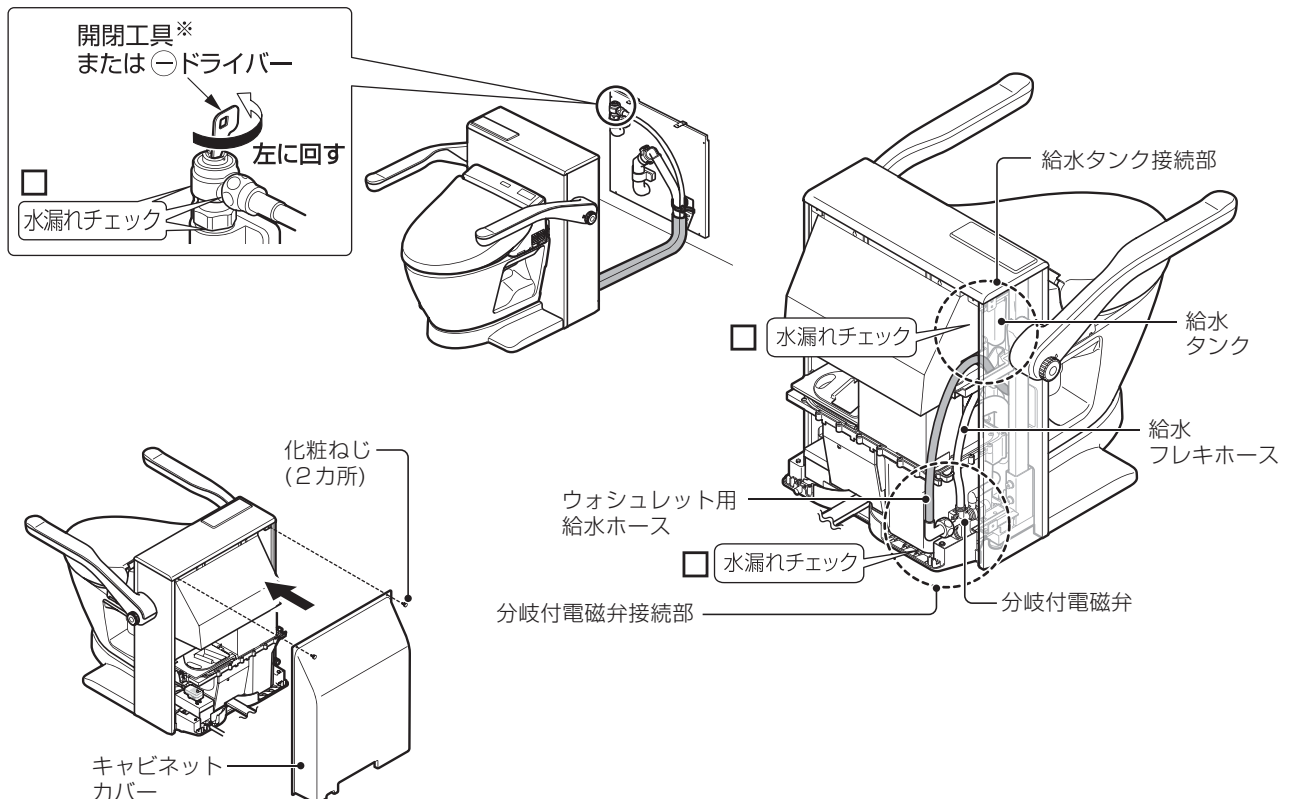
- ・ 給水前の配管接続部のゆるみがないか再確認する。
- ・ 止水栓を開いて配管接続部から水漏れがないことを確認する。
- ・ ウォシュレット用給水ホース、給水フレキホースの接続部から水漏れが無いことを確認する。

※水漏れがあれば再施工を行い、水漏れをとめてください。

※付属の開閉工具または、ードライバーを使用してください。

作業が完了したら、必ずお客様に開閉工具の場所をお伝えください。

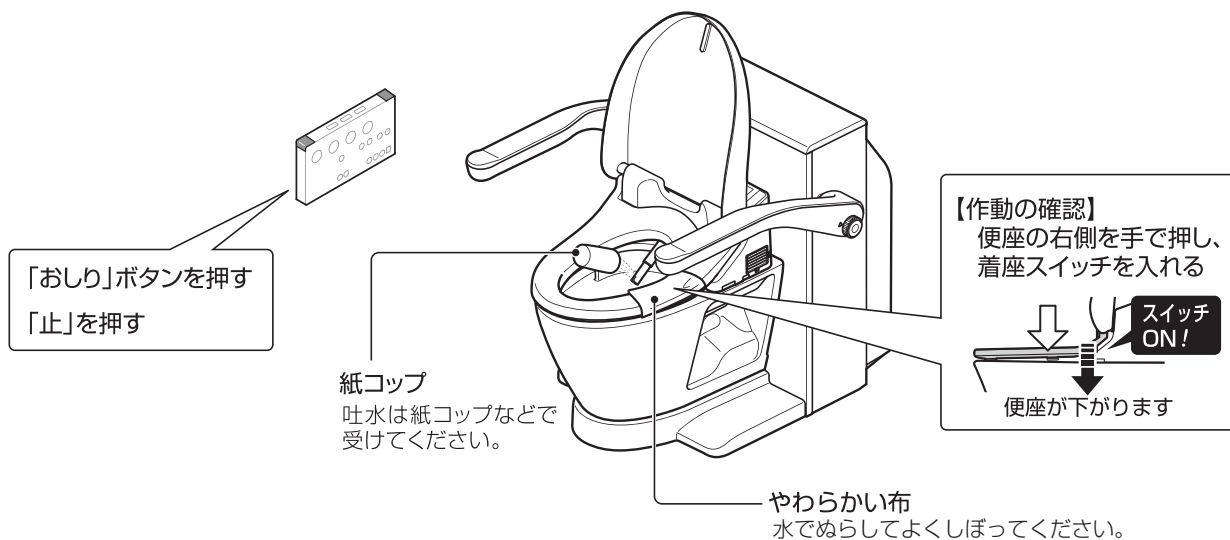
### □ 水漏れ点検後、キャビネットカバーを取り付ける



## 2 機能の点検

### □ 便器洗浄しますか

**見る** リモコン便器洗浄付の場合  
ウォシュレット専用便器洗浄ユニット施工説明書に従い試運転を行う。



### □ ノズルから洗浄水がでますか

温水タンクが空のときは、吐水するまで約1分かかります。

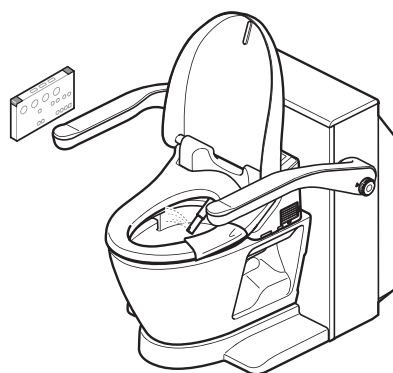
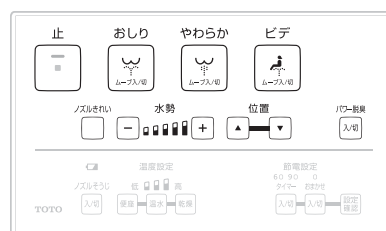
①便座の右側を手で押し、着座スイッチを入れる。

- 着座スイッチが「入」になると各機能がはたらきます。  
※手で押したまま ②の確認を行ってください。

②洗浄機能を確認する

- リモコンの「おしり」「やわらか」「ビデ」ボタンを押す  
➡ ノズルから適温の温水が出ますか？  
(温水タンクが空のときは、吐水するまで約1分、  
温水になるまで約10分かかります。)
- リモコンの水勢調節ボタンを押す ➡ 水勢が変化しますか？
- リモコンの「止」ボタンを押す ➡ 洗浄が止まりますか？

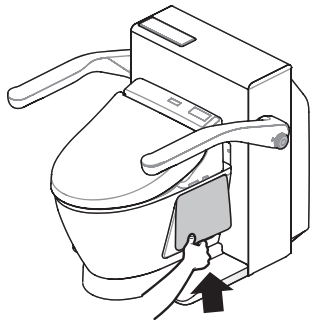
③便座を押した手ははずし、着座スイッチを切る。



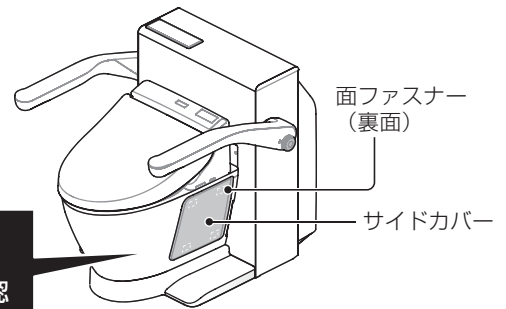
## 12. サイドカバーを取り付ける

◆ 便器部 サイドカバー (P5参照)

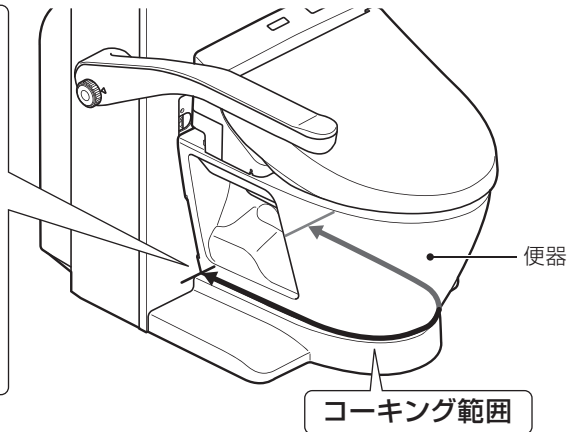
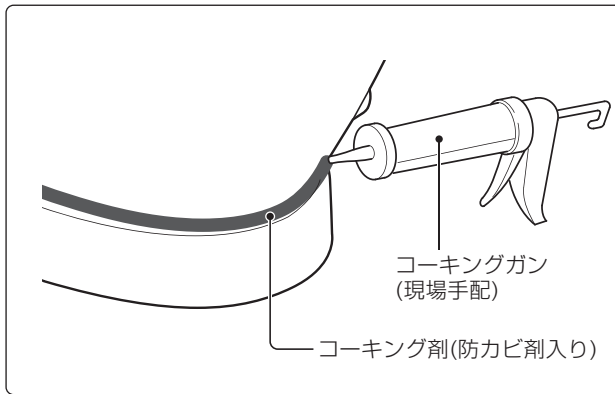
前後左右のすき間が目立たないように取り付ける。



面ファスナー部 (4ヶ所) を  
しっかり押さえて、サイド  
カバーがはずれないことを確認



## 13. コーキング処理をする



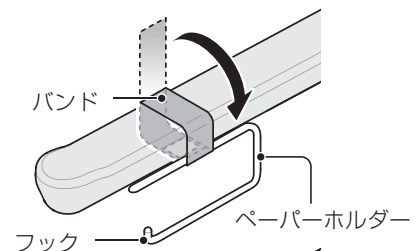
## 14. ペーパーホルダーを取り付ける

◆ 本体部 ペーパーホルダー (P5参照)

はね上げアームレストやベッドの柵にペーパーホルダーを取り付ける。

①ペーパーホルダーのバンドはできるだけきつくしぼる。

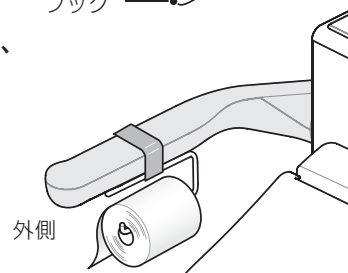
ゆるいとはね上げアームレストをはね上げたときに、  
ペーパーホルダーがずれる原因になります。



②フックを前側として、トイレットペーパーが傾かないように、  
取り付ける。

トイレットペーパーは取り出し向きが外側になるように、  
取り付ける。

使用可能なペーパー：幅105～114mm  
外径φ120mm以下  
芯あり



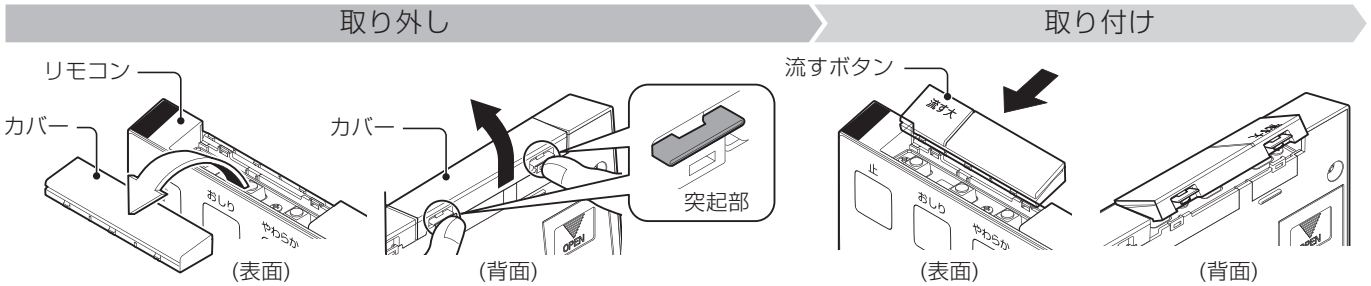
(図は、はね上げアームレストに取り付けた場合)



# 15. リモコンを取り付ける

## ◆ ウォシュレット リモコン部 (P5参照)

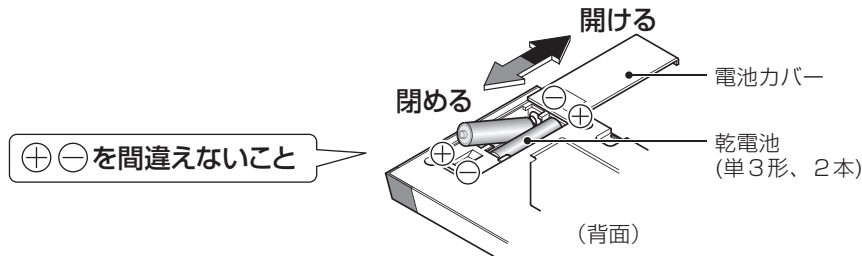
- ①リモコンのカバーを取り外し、流すボタンを取り付ける。
- ②リモコン裏面の電池カバーを開け、乾電池を入れる。同梱の乾電池を使用する。



リモコン背面の突起部(2カ所)を同時に押してカバーを取り外す。  
※取り外したカバーは使用しません。

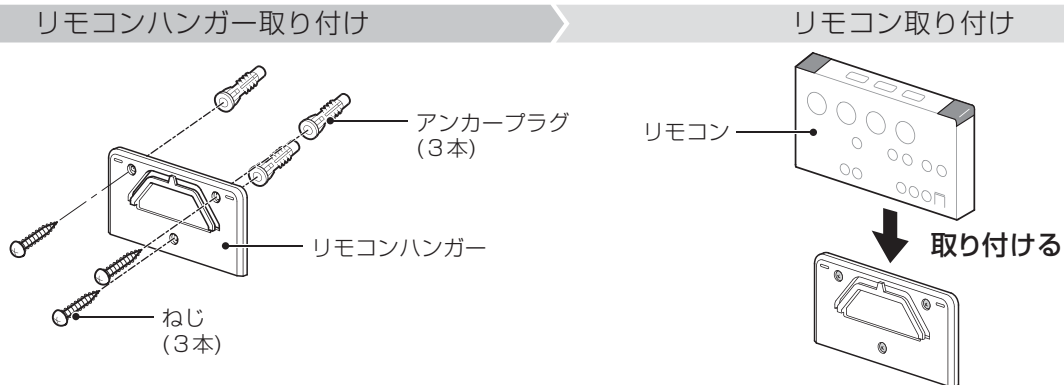
流すボタンを斜めにしてはめ込みカチッと音がするまで上から押える。

## 電池を入れる



## リモコン操作可能な壁がある場合

- ①リモコンハンガーをねじ(3カ所)で取り付ける。
  - ・ねじは同梱のねじを使用する。
  - ・ハンガーは必ず3カ所固定する。
  - ・壁にφ3の下穴をあけると取り付けやすくなります。
  - ・石膏ボードやタイル壁に取り付ける場合は、φ6深さ33mmの下穴をあけ、付属のアンカープラグを使って取り付ける。
- ②リモコンをリモコンハンガーに取り付ける。



## リモコン操作可能な壁がない場合

リモコンからリモコンハンガーを外し、使いやすい場所に置いてご使用ください。

## 同一居室内にベッドサイド水洗トイレを複数台設置する場合

同じ室内に2台以上ウォシュレットを設置する場合、ウォシュレットの機種に関わらず、設置状態によっては隣のリモコン操作で誤動作する場合がありますが、リモコンの設定コードを切り替えることにより、誤動作を防止することができます。



**見る** ウォシュレットSのアフターサービスマニュアル「連立トイレ対応方法」をご参照ください。

## 工事店様へ



- 使用しない乾電池は、工事完了後お客様にお渡しください。
- 取扱説明書の保証書に必要事項を記入のうえ、お客様にお渡しください。
- ウォシュレットの機能、使いかたについてお客様に説明してください。新築などでお客様に引き渡すまでに時間があるときは、電源プラグを抜いてください。
- 連立対応について(URL) <http://search.toto.jp/contents/navi/> の「施工情報」→「ウォシュレットリモコン連立対応方法」をご覧ください。  
※機種により掲載されていない場合があります。

# 給水フィルターの掃除

## ⚠ 注意

 禁止	止水栓を開けたままで給水フィルターを外さない 水が噴出する原因になります。
 必ず実行	給水フィルターを確実に締める 確実に締めないと水漏れの原因になります。

①点検口を外し、止水栓を閉めて給水を止める。

②リモコンの ノズルそうじ  を押してノズルを伸出させた後、もう一度リモコンの ノズルそうじ  を押してノズルを戻す。  
給水管の圧抜きをする。

③電源プラグを抜く。

④給水フィルターのふたを開閉工具で開けて、給水フィルターを取り外す。

⑤給水フィルターをふたから取り外し、水洗いする。

- 小さなゴミは、歯ブラシなどを使って確実に取り除く。
- 洗剤は使わず水洗いする。
- 給水フィルターに無理な力を加えない。  
変形の原因になります。  
給水フィルターの汚れ、目詰まりなどがひどい場合は、交換をおすすめします。
- Oリングを傷つけないようにする。

⑥給水フィルターをふたに取り付ける。

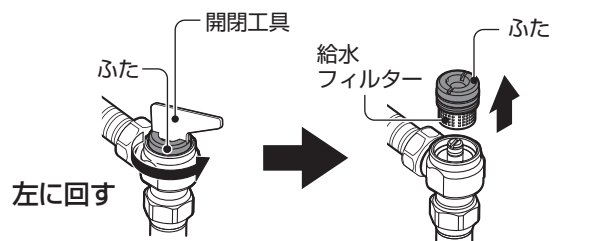
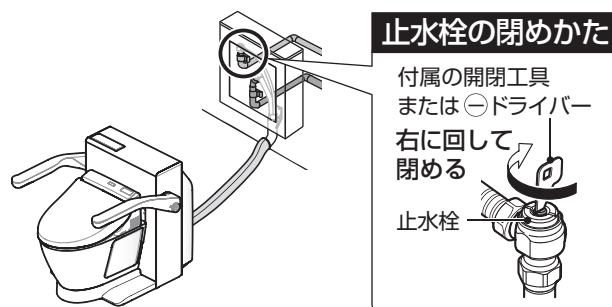
⑦給水フィルターのふたをの位置に取り付け開閉工具で締め付ける。

⑧止水栓を開け、点検口を取り付ける。

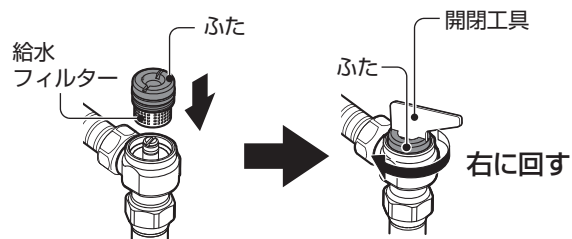
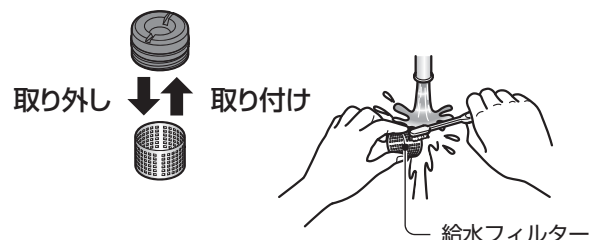
止水栓および配管接続部から水漏れしていないか確認する。

⑨電源プラグを差し込む。

根元まで確実に差し込む。



※付属の開閉工具をご使用ください。



※付属の開閉工具をご使用ください。

